

2016年1月

「東京レインボープライド
2015 来場者アンケート調査」
報告書

—LGBTの人々の声—

目次	1～2
はじめに（調査の実施概要と結果の概況）	3～4
第1章 アンケート集計結果	
Q1 東京レインボープライド 2015 を知ったきっかけ	5
Q2 東京レインボープライド（パレード）への参加回数	5～6
Q3 参加目的	6
Q4 会場での催しの満足度	7～8
Q5 会場での催しについての改善の程度	8～10
Q6 レインボーウィーク期間の他の催しへの参加	11
Q7 職場選択の基準（LGBT フレンドリーか否か）	11～
13	
Q8 商品購入の基準（その製品の会社がLGBTフレンドリーか否か）	13～14
Q9 新宿2丁目のLGBTが集まるお店の利用	14～16
Q10 LGBT関連の団体や活動への参加状況	16～
18	
Q10SQ1 LGBT関連の団体や活動へ参加しない理由	18～
19	
Q11 同性パートナーシップ証明書の利用への意向	19～
20	
Q11SQ1 同性パートナーシップ証明書を利用しない理由	20～21
Q11SQ2 同性パートナーシップ証明書を利用する理由	21～22
Q12a 同性カップルの保障（法的婚姻）	
22	
Q12b 同性カップルの保障（法的保障）	
23	
Q12c 同性カップルの保障（パートナー証明書）	23～
24	
Q13 回答者の年齢	24
Q14 回答者の居住地	25
Q15 回答者の家族構成	26
Q16 回答者の職業	26～
27	
Q17 回答者の性自認と身体的性	27～

28	
Q18	回答者の性的指向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28～
29	
Q19	回答者が自身のセクシュアリティを認識した時期・・・・・・・・・・ 29～
30	
Q20	回答者のカミングアウトの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30～
31	
Q20SQ1	回答者がカミングアウトしている人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31～
32	
Q21a	LGBT であるための日常生活での不自由さ（社会保障制度）・・・・・・・・ 32～
33	
Q21b	LGBT であるための日常生活での不自由さ（人間関係）・・・・・・・・・・ 33～
34	
Q21c	LGBT であるための日常生活での不自由さ（生活環境）・・・・・・・・・・ 34

第2章 アンケート自由記述および「その他」の具体的内容

Q1	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
Q3	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
Q5	(2) 会場の催しについての改善点 a パレード・・・・・・・・・・ 36～37
Q5	(2) 会場の催しについての改善点 b ブース・・・・・・・・・・ 37～38
Q5	(2) 会場の催しについての改善点 c ステージ・・・・・・・・・・ 38～39
Q5	(2) 会場の催しについての改善点 d 飲食店屋台・・・・・・・・・・ 39～40
Q6	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
Q10SQ1	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40～
41	
Q11SQ1	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
Q11SQ2	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
Q20SQ1	「その他」について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
Q22	今回の催し及びアンケートに対する意見・感想・・・・・・・・・・ 43～
48	
	(参考資料) 調査票見本・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49～

調査の実施概要と結果の概況

本報告書は、2015年4月25日、及び26日に代々木公園イベント広場（東京都渋谷区）にて開催された「東京レインボープライド2015」（共同代表：山縣真矢・杉山文野）のステージイベント、ブース、パレードに来場・参加された方々を対象として、駒澤大学文学部社会学科松信研究室（3年次演習Ⅰ）が調査主体となって実施した「レインボープライド2015来場者アンケート」の集計結果である。本調査は、この度の催しに対する意見や感想を伺うことを主要な目的としているが、加えてLGBTの方々の日ごろの生活や意識についても伺っている。

本調査の調査方法及び調査票の回収状況と結果の概要は以下の通りである。

1. 調査方法と対象者

「東京レインボープライド2015」に来場された方を対象として、会場入り口にてアンケート調査への協力を呼びかけ、協力してくださった方を対象とした。その場で自計式にて回答。

調査票は1096票配布し、回収できたのは310票である（回収率29%）。うち有効回答は、300票（有効回答率96%）である。

2. 本調査の結果の概要

①今回初めて来場したという回答者が過半数を占め、この催しを知ったきっかけも約40%がインターネットやツイッターをみてということである。年齢層が20歳代が最も多かったのも、インターネットやツイッター見て知ったということが影響していると考えられる。

②会場での催し（パレード、ブース、ステージ）と会場に出店していた飲食店に対する満足度は高い

③レインボーウィークの期間に会場以外で行われていた催しに関しては、認知度が低く、参加していない方が過半数だった。

④職場選択の基準として、LGBTに理解のある会社か否かという点に関しては、LGBT当事者の方は過半数が、職場選択の基準として考えるということであった。

⑤商品購入の基準として、その商品を製造している会社がLGBTに理解のある会社か否かを配慮するかという点に関しては、LGBT当事者の方もLGBTでない方も配慮しないという回答が過半数を占めていた。

⑥新宿2丁目のLGBTの方が多く集まるお店の利用については、LGBT当事者の方は利用したことがない方も50%近くいるものの、残りの半数は、頻度は異なるものの、利用している。しかし、LGBTではない方は、80%が利用していないという結果だった。

⑦LGBT関連の団体や活動への参加については、LGBTでない方は、約80%が参加していない。当事者の方の参加も30%程度にとどまっている。参加しない理由としては、当事者の場合、「どのような団体・活動があるのかわからない」「カミングアウトしていないのでかかわれない」という回答が多く、一方当事者でない方の場合「どのような団体・活動があるのかわからない」に加えて「そもそも関心がない」という理由が多かった。

⑧同性パートナーシップ証明書の利用については、利用したいという方が70%を超えていた。利用したい理由としては、「パートナーや子どもの病院で困ったことがある」「パートナーと住まいを探すのに困ったことがある」といった理由も多かったものの、一番多くみられたのは「パートナーである（二人がカップルである）ことを公的に証明してもらうことがうれしい」という回答であった。一方、利用しない理由としては、「これまでに困ったことがないから」「証明書を利用する機会がない」という回答が多かった。

⑨同性カップルの社会的保障については、法的婚姻に関しては、60%程度、社会的保障②に関しては、80%程度、パートナー証明については60%程度の方が必要であると回答している。

⑩来場者の約40%都内からの来場であり、近郊県も30%ほどであった。しかし、遠方からでは、北海道や沖縄からという方もいらっしやった。

⑪家族構成は、両親との同居が一番多かったが、一人暮らしが17%、パートナーとの同居も17%であった

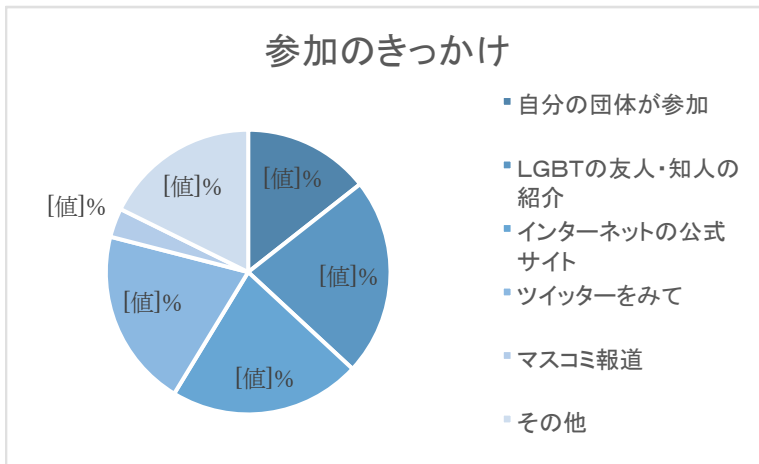
⑫セクシュアリティは、レスビアン、バイセクシュアル、ゲイの方がそれぞれほぼ同じ割合であり、セクシュアリティの認識時期は中学生が最も多かったものの、小学校入学前や大学生も含め、多様な時期に認識されていることがわかった。

⑬カミングアウトについては、一部の人にだけしている方が 75%と最も多く、カミングアウトしている相手は「友人」「母親」「パートナー」「兄弟姉妹」が多く、親族であっても「父親」は比較的低い傾向にあった。

⑭LGBTであるために、日常生活で不自由を感じることについては、「社会保障制度」については 54%の方が、「人間関係」については 78%の方が、生活環境については 60%の方が不自由を感じると回答している。

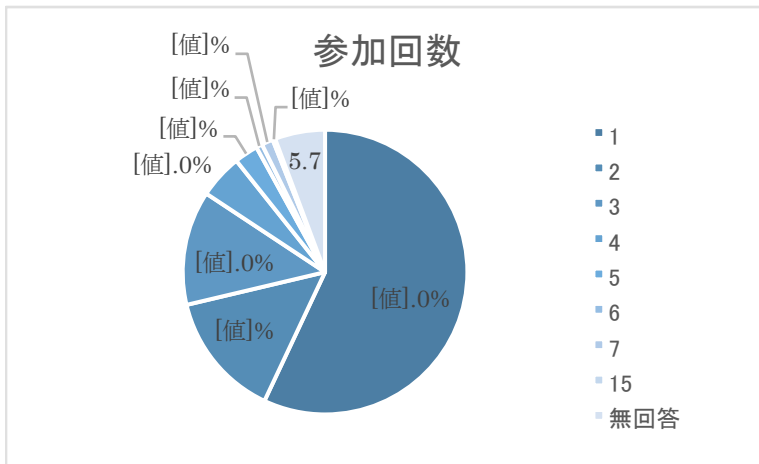
Q1 今回の東京レインボープライドを知ったきっかけについて、当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 自分がかかわっている団体が参加するから
2. (LGBTの)友人・知人に教えてもらって
3. インターネットの公式サイトを見て
4. Twitter をみて
5. マスコミの報道を見聞きして
6. その他



「その他」（17.7%）という回答を除いて再集計したところ、最も多かったのは「LGBTの友人・知人の紹介（22.5%）」で、続いて「インターネットの公式サイトを見て（21.8%）」「ツイッターを見て（20.3%）」「自分の団体が参加している（14.4%）」「マスコミ報道（3.3%）」という結果になった。（「その他」の具体的内容については後半に別記載）

Q2 東京レインボープライド（プライドパレード）への参加は今回で何回目ですか？



今回初めて参加したという人が過半数を占め、57.0%で、続いて2回目（14.3%）、3回目（13.0%）という結果になった。

Q3 あなたはどのような目的でこの催しにいらっしゃいましたか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. パレードに参加するため
2. パレードを見物するため

3. ブースに出展者として参加するため
4. ブースを見たり買い物したりするため
5. ステージに出演するため
6. ステージを見物するため
7. LGBTの友人を増やすため
8. LGBTに関する様々な情報を得るため
9. LGBTの仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため
10. その他

選択した人の割合 (%)

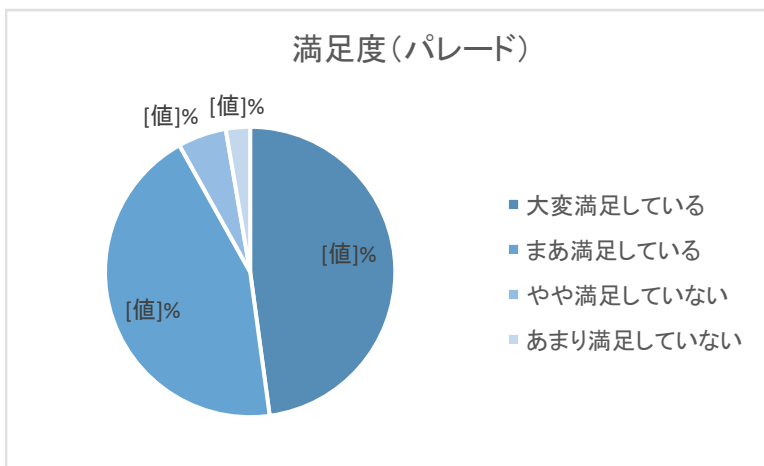
パレードに参加するため	<input type="text" value="35.0"/>	35.0
パレードを見物するため	<input type="text" value="28.3"/>	28.3
ブースに出展者として参加するため	<input type="text" value="9.5"/>	9.5
ブースを見たり買い物したりするため	<input type="text" value="58.7"/>	58.7
ステージに出演するため	<input type="text" value="1.7"/>	1.7
ステージを見物するため	<input type="text" value="31.1"/>	31.1
LGBTの友人を増やすため	<input type="text" value="16.1"/>	16.1
LGBTに関する情報を得るため	<input type="text" value="41.3"/>	41.3
LGBTの仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため	<input type="text" value="30.8"/>	30.8
その他	<input type="text" value="9.1"/>	9.1

(註) 複数回答であるため、全てを足して100%とはならない

「ブースを見たり買い物したりするため」が最も多く、回答者の58.7%がこのために来場していた。他にも「LGBTに関する情報を得るため」(41.3%)や「パレードに参加するため」(35.0%)「ステージを見物するため」(31.1%)「年に一度のお祭りを楽しむため」(30.8%)「パレードを見物するため」(28.3%)と回答した人も多かった。(「その他」の具体的内容に関しては、後半に別記載)

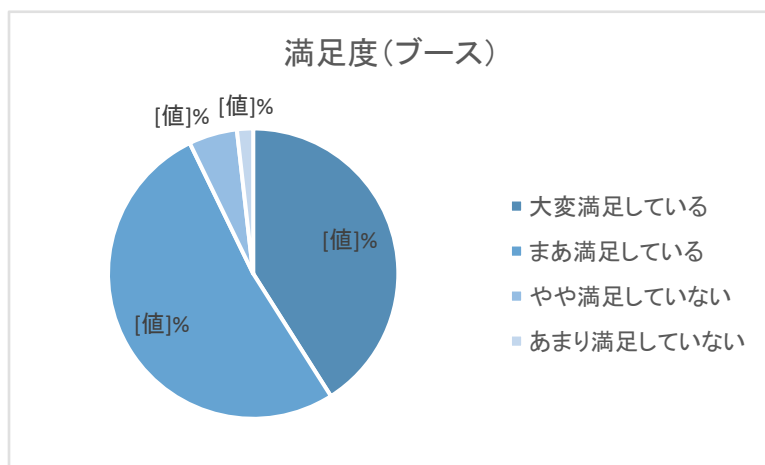
Q4 今日の会場の催しにどの程度満足しましたか。a から d の各項目に関して、当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

a. パレード



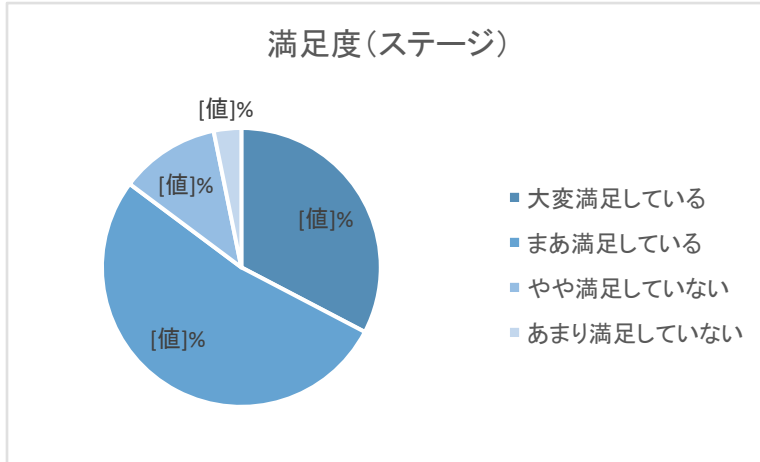
パレードの満足度は非常に高く、「大変満足している (47.8%)」「まあ満足している (44.0%)」を合わせると90%以上の来場者が満足していると答えた。

b. ブース



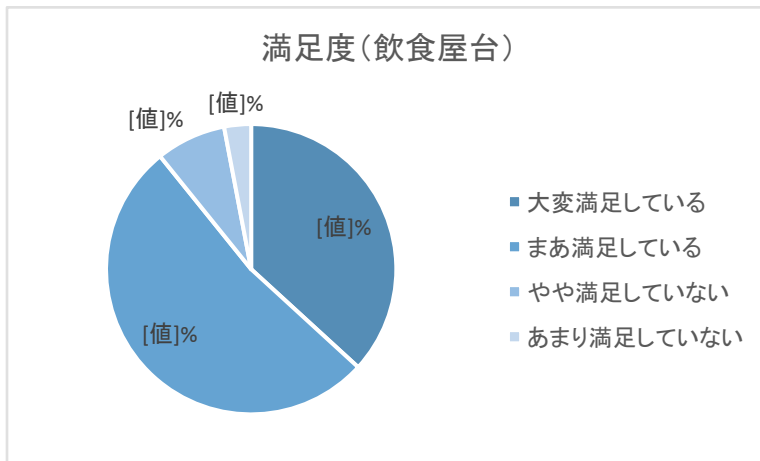
各ブースに対する満足度も高く、「大変満足している (41.0%)」と「まあ満足している (51.8%)」とを合わせて90%超えとなる結果になった。

c. ステージ



ステージの満足度は他の項目より若干低くなったが、それでも「大変満足している (32.7%) 」と「まあ満足している (52.6%) 」を合わせると80%以上になる結果になった。

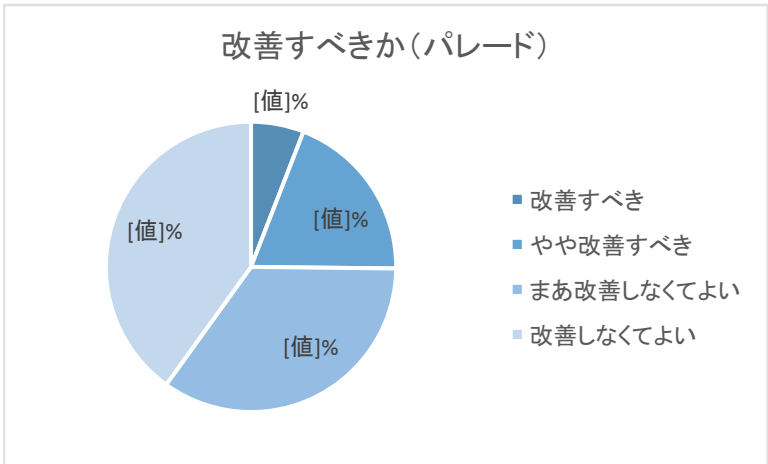
d. 飲食の屋台



飲食物を販売する屋台に対する満足度も、「大変満足している」が36.8%、「まあ満足している」が52.4%となり、合わせると約90%の来場者が満足していると答えた。

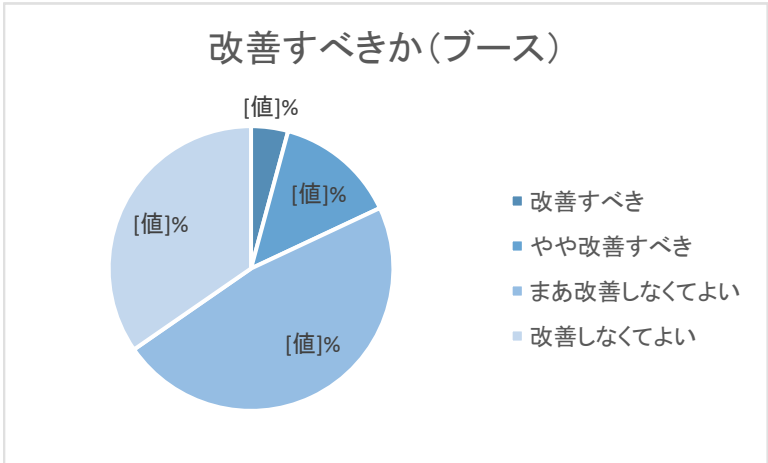
Q5 今日の会場の催しについて改善したほうがよいと思われるものはありますか。a から d の各項目に関して、当てはまる番号一つに○をつけ、その改善点について具体的にお書きください。

a. パレード



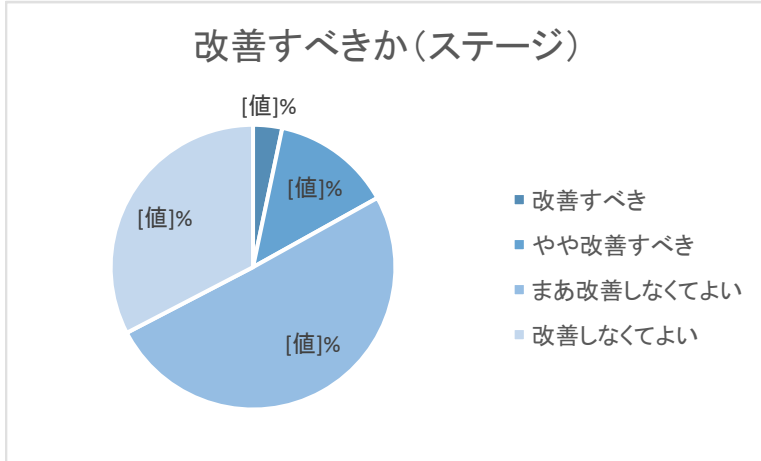
パレードの改善については、「改善しなくてよい」(40.1%)「まあ改善しなくてよい」(34.8%)と約75%が改善の必要はないとしている。「改善すべき」と回答している25%の意見の具体的な改善点としては、「集合場所・整列場所がわかりにくい」「(海外に比べて)静か過ぎる。もっとお祭りっぽいがいい。単に行進するだけでなく、もっと自己表現をしたほうがいい」「人数制限をしないで、飛び入り参加も認め、もっと参加人数を増やしたほうがいい」といった回答が多かった。(詳細な改善点の内容については、後半に別記載)

b. ブース



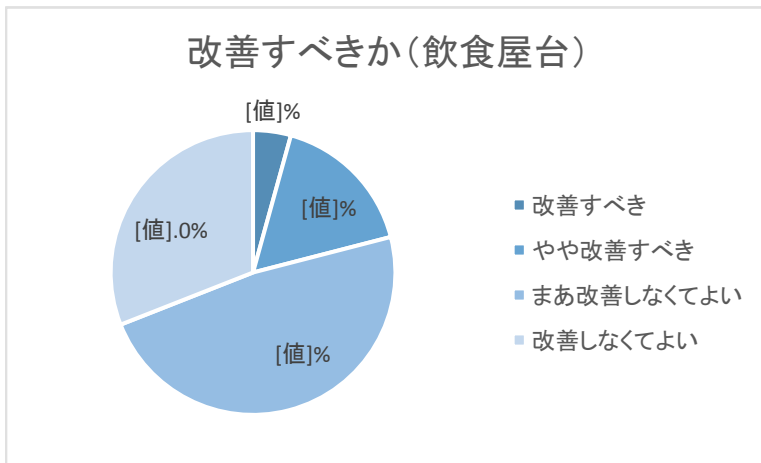
ブースの改善については、「改善しなくてよい」(34.6%)「まあ改善しなくてよい」(47.3%)と80%近くが改善の必要はないとしている。「改善すべき」としている約20%の人たちが指摘する具体的な改善点は、「どこに何があるのか、何のブースなのかわかりにくい。事前の資料と配置が違っていた。ぱっと見てわかりやすい目印(旗など)をつけるといい」「ストレートやファミリー層(キッズ)が楽しめるブースがあるといい」といった回答が多かった(詳細な改善点の内容については、後半に別記載)

c. ステージ



ステージの改善については、「改善しなくてよい」(32.6%)、「まあ改善しなくてよい」(50.4%)とその他と同様に80%以上の方が改善は必要ないとしている。「改善すべき」としている人の意見は、「今何をやっているのかわかりにくい」「情報が少ないので告知を強化してほしい」といった回答が多かった(詳細な改善点の内容は後半に別記載)

d. 飲食の屋台

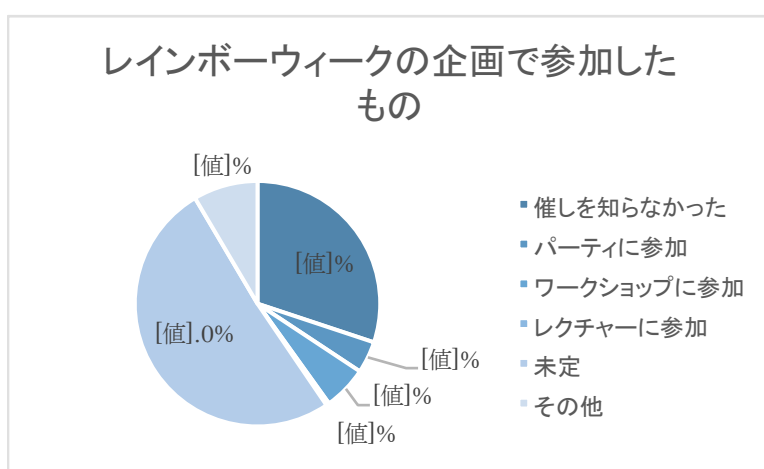


飲食店の屋台については、「改善しなくてよい」(31%)、「まあ改善しなくてよい」(48.1%)と80%近くが改善する必要はないとしているが、残り30%の「改善すべき」という具体的内容については「同じ系統のものが集まりすぎ。もっと種類を増やしてほしい」「値段が高い」「ゴミ箱をわかりやすくしてほしい」といった回答が多かった(詳細な改善点の内容は後半に別記載)

Q6 レインボーウィーク期間は、この会場でのパレードとフェスタのほか、パーティやワ

ークショップなど様々な催しが行われています。あなたは、これらにも参加しましたか（する予定ですか）。あてはまる番号一つだけ○をつけてください。

1. パレードとフェスタ以外にそのような催しがあることは知らなかった
2. パーティに参加した（する予定）
3. ワークショップに参加した（する予定）
4. レクチャーに参加した（する予定）
5. まだ決めてない
6. その他

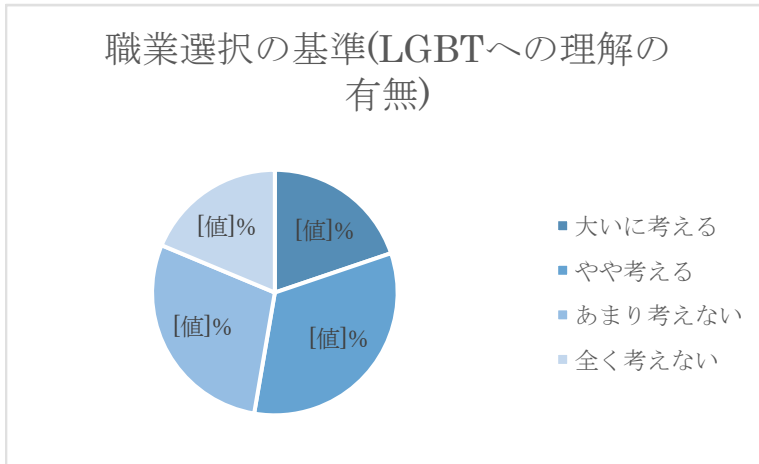


これはレインボーウィーク期間に行われている催しの参加予定をたずねた結果である。最も多かった回答は「未定」で約50%、レインボーウィーク期間にパレードとフェスタ以外の催しがあることが知らなかった人が約30%、「その他」が約9%、「ワークショップ」が約6%、「パーティ」が約4%、「レクチャー」が0.5%であった。「その他」に関しては、具体的な記述はあまりなかったが、「映画祭」、「交流会」といった回答があった。

Q7 あなたは、仕事を選択する際に、LGBTに理解のある職場かどうかを選択基準のひとつとして考えますか。現在学生の方は、今後の就職活動を想定して、現在お仕事をお持ちの方は、今の職場に就職する際のことを思い出し、あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 全く考えない（考えなかった）

2. あまり考えない (考えなかった)
3. やや考える (考えた)
4. 大いに考える (考えた)



これは職業選択の際に、LGBTに理解があるかどうかを選択基準として考えるかをたずねた。「やや考える」が約33%、「あまり考えない」が約28%、「大いに考える」が約20%、「全く考えない」が約19%であった。

この回答について、LGBT当事者であるか当事者ではないかで比較したものが表1である。

表1 LGBTであるか否か別にみた職場選択の基準 (LGBTへの理解の有無)

			職場選択の基準 (LGBTへの理解の有無)				合計
			全く考えない	あまり考えない	やや考える	大いに考える	
LGBTか否か	LGBTである	度数	33	53	70	45	201
		LGBTか否かの%	16.4%	26.4%	34.8%	22.4%	100.0%
LGBTではない	LGBTではない	度数	14	19	15	4	52
		LGBTか否かの%	26.9%	36.5%	28.8%	7.7%	100.0%
合計		度数	47	72	85	49	253
		LGBTか否かの%	18.6%	28.5%	33.6%	19.4%	100.0%

χ²検定 P<.05

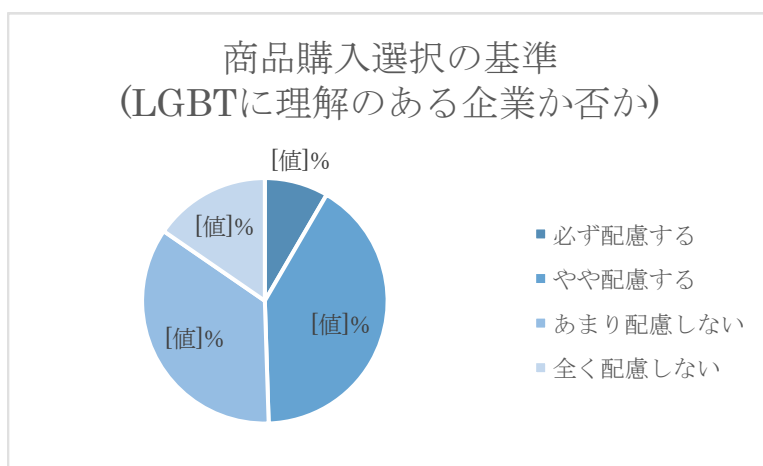
*クロス表作成にあたり、欠損値の発生により、合計%に若干の差が生じている

表1より、回答者がLGBTではない場合、職場選択の基準としてLGBTへの理解の有無を「全く考えない」割合が26.9%と高くなるが、当事者である場合は、全く考えない割合

は16.4%と低く、一方「大いに考える」割合が、LGBT当事者は22.4%と高く、当事者ではない場合には大いに考える割合は7.7%と低い。また、LGBT当事者の場合、「やや考える」が34.8%であり、「大いに考える」とあわせると60%近くの人が、職場選択の基準として、LGBTへの理解を念頭においていることがわかる。

Q8 あなたは、商品を購入する際に、その商品を製造している会社がLGBTに理解のある会社かどうかを配慮し、購入しますか（同じ種類の商品であれば、LGBTへの理解が少しでも高いほうで買うなど）。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 全く配慮しない
2. あまり配慮しない
3. やや配慮する
4. 必ず配慮する



これは商品購入の際に、LGBTに理解のある企業かどうかを選択基準として考えるかをたずねた結果である。「やや配慮する」が約40%、「あまり配慮しない」が約35%と同じ程度の割合であった。続いて「全く配慮しない」が約15%、「必ず配慮する」が約8%であった。

この回答について、LGBT当事者であるか、当事者ではないかによって比較したものが表2である。

表2 LGBTであるか否か別にみた商品購入選択の基準 (LGBTに理解のある企業か否か)

	商品購入選択の基準 (LGBTに理解のある企業か否か)	合計

			全く配慮しない	あまり配慮しない	やや配慮する	必ず配慮する	
LGBTか否か	LGBTである	度数	28	70	90	15	203
	か	の %	13.8%	34.5%	44.3%	7.4%	100.0%
LGBTではない	度数	9	19	20	4	52	
	か	の %	17.3%	36.5%	38.5%	7.7%	100.0%
合計	度数	37	89	110	19	255	
	か	の %	14.5%	34.9%	43.1%	7.5%	100.0%

χ^2 検定 P=N.S.

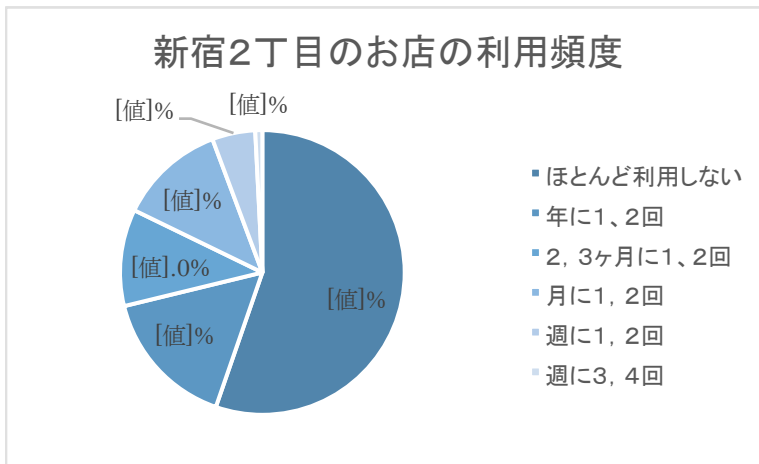
*クロス表作成にあたり、欠損値の発生により、合計%に若干の差が生じている

Q7では、企業選択の基準としてLGBTに理解のある職場か否かについて、LGBT当事者と当事者でない場合を比較すると、当事者にとっては重要である傾向がみられた。しかし、表2から、商品の購入に際しては、LGBT当事者でも、当事者でない場合も大きな差はみられず、「配慮する」割合と「配慮しない」割合がほぼ半々程度であることがわかる。つまり、LGBT当事者は、企業がLGBTに理解があるという点に関して、自身が働く場合には、職場環境という意味で、選択の基準として重要視するが、商品に関しては、LGBT当事者であるから、その商品を提供する会社のLGBTへの理解度をより重要視するとは限らないということが言えるだろう。

Q9 あなたは、新宿2丁目のLGBTが集まるお店をどのくらいの頻度で利用しますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. ほとんど利用したことはない
2. 年に1、2回くらい
3. 2、3か月に1、2回くらい
4. 月に1、2回くらい
5. 週に1、2回くらい
6. 週に3、4回くらい

7. ほぼ毎日



新宿2丁目の店の利用頻度をたずねたところ、最も多かった回答が「ほとんど利用しない」で約55%であった。「年に1,2回」が約16%、「月に1,2回」が約12%、「2,3ヶ月に1,2回」が約11%、「週に1,2回」が約5%、「週に3,4回」が約1%であった。

表3 LGBTか否か と 新宿2丁目のお店の利用頻度 のクロス表

			新宿2丁目のお店の利用頻度2					合計
			ほとんど利用したことはない	年に1,2回	2,3ヶ月に1,2回	月に1,2回	週に1~4回	
LGBTか否か	LGBTである	度数	98	33	27	30	14	202
		LGBTか否かの%	48.5%	16.3%	13.4%	14.9%	6.9%	100.0%
	LGBTではない	度数	43	7	1	2	0	53
		LGBTか否かの%	81.1%	13.2%	1.9%	3.8%	0.0%	100.0%
合計		度数	141	40	28	32	14	255
		LGBTか否かの%	55.3%	15.7%	11.0%	12.5%	5.5%	100.0%

χ^2 検定 P<.00

*クロス表作成にあたり、欠損値の発生により、合計%に若干の差が生じている

表3は、新宿2丁目のお店の利用頻度について、LGBT当事者であるか否かで比較したものである。新宿2丁目のお店を利用したことがない人はLGBT当事者でない人が81%とかな

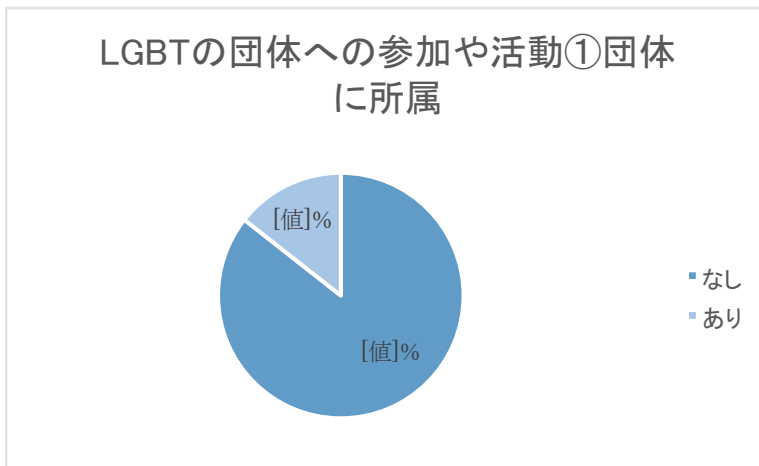
り多く、LGBT当事者は利用したことがない人が48.5%であり、過半数の当事者の人が利用したことがあるということがわかる。LGBT当事者の利用頻度の内訳は、「年に1, 2回」「2, 3ヶ月に1, 2回」「月に1, 2回」がほぼ同じくらいだが、当事者でない人の場合、利用頻度は年に1, 2回程度であって、それ以上の利用はないことがわかる。

LGBT当事者でない人たちの新宿2丁目の利用は非常に少なく、やはり新宿2丁目はLGBTの当事者の方たちが行く場所という認識が強いのだろうか。

Q10 あなたはLGBT関連の団体や活動に参加していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

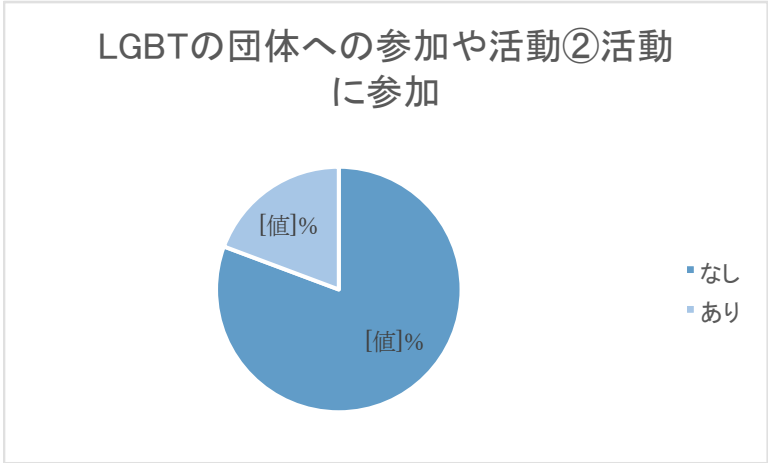
1. LGBT関連の団体に所属している
2. LGBT関連の活動に参加している
3. 団体への所属や活動への参加はしていない

① 団体に所属



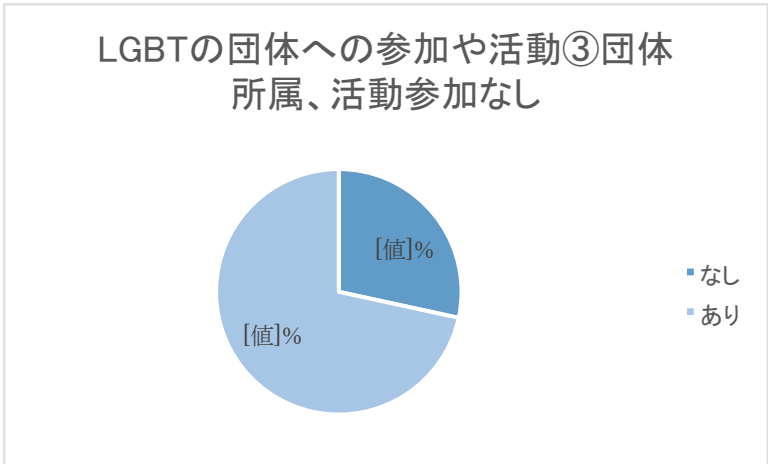
LGBTの団体に所属しているかどうかをたずねたところ、団体に所属している人(図の「あり」)が約14%、所属していない人(図の「なし」)が約86%という結果であった。

② 活動に参加



LGBTの活動に参加しているかどうかをたずねたところ、活動に参加している人（図の「あり」）が約19%、参加していない人（図の「なし」）が約81%という結果であった。

③ 団体所属、活動参加なし



LGBTの団体への参加や活動への参加状況をたずねたところ、所属も参加もしていない人（図の「あり」）が約72%、している人（図の「なし」）が約28%という結果であった。

これらのQ10①から②に関して、①と②をあわせて、「LGBT関連の団体に所属もしくは、活動に参加している人」、③はそのまま「団体にも所属せず、活動もしていない人」として、LGBT当事者であるか否かで比較したのが、次の表4である。

表4 LGBTか否かとLGBT関連団体所属と活動参加への有無

	LGBT関連の団体・活動への参加	合計

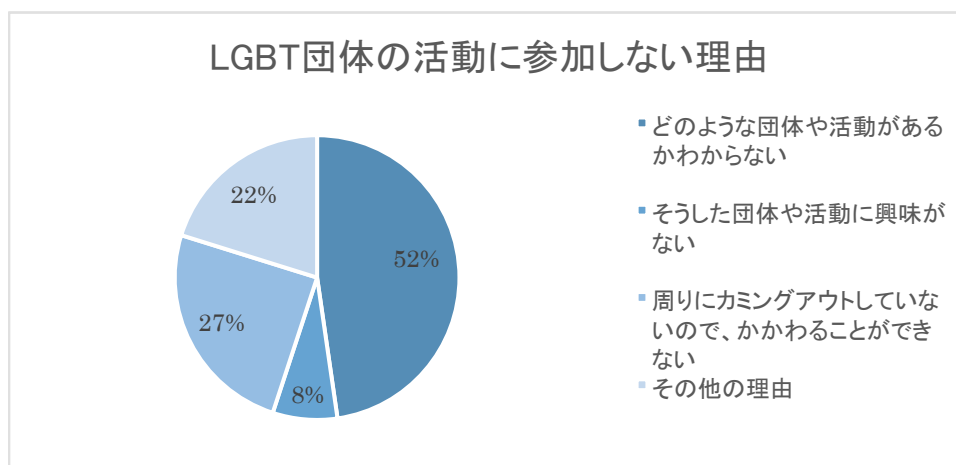
			LGBT関連の団体・活動に参加している	LGBT関連の団体・活動に参加していない	
LGBTか否か	LGBTである	度数	63	140	203
		LGBTか否かの%	31.0%	69.0%	100.0%
	LGBTではない	度数	9	43	52
		LGBTか否かの%	17.3%	82.7%	100.0%
合計		度数	72	183	255
		LGBTか否かの%	28.2%	71.8%	100.0%

χ^2 検定 P<.05

LGBT関連団体への所属と活動への参加について、LGBTか否かで比較したのが表4である。LGBT関連の団体に所属したり、活動に参加したりしている当事者は31%であり、当事者でない人の所属・参加の割合約18%のほぼ倍近くであることがわかる。

Q10SQ1 Q10で3と回答された方に伺います。そうした団体や活動に参加しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. そもそもそうした団体や活動に興味がないから
2. どのような団体や活動があるのかよくわからないから
3. まわりにカミングアウトしていないので、かかわることができない
4. その他



LGBT団体の活動に参加しない理由としては、どのような団体や活動があるのかよくわからないからという人の割合が最も高く約52%、ついでカミングアウトしていないのでか

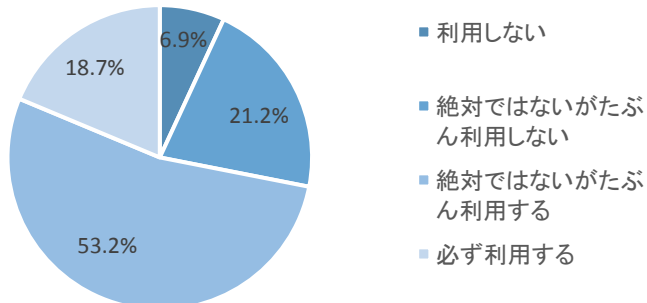
かわれないという人は約27%、そのほかの理由がある人は約22%、そうした団体や活動に興味がないという人は約8%であった。その他の割合が比較的多かったが、その具体的な内容としては、「時間がない」「余裕がない」という回答が多くみられた（詳細は後半に別記載）。

また、LGBT関連の団体に所属しない・活動に参加しない理由を、LGBT当事者と当事者以外で比較すると、当事者の場合、「どのような団体や活動があるのかわからないから」が52.2%と最も割合が高く、「まわりにカミングアウトしていないので、かかわることができない」が41.6%と割合が高かった。一方、当事者でない人の場合、「どのような団体や活動があるのかわからないから」が80.0%と圧倒的であり、「そもそもそうした団体や活動に興味がないから」が16.7%であった。カミングアウトしていない当事者の場合、LGBT関連の活動にかかわることで、自分が当事者であることが回りに知られてしまうのではないかという不安を抱いてしまうようだ。

Q11 今月（4月）1日に渋谷区で同姓パートナーシップ証明書の発行にかかわる条例が可決されました。あなたがお住まいの自治体でこのような証明書が発行されることになったら、利用したいと思いますか？あてはまる番号に一つだけ○をつけてください（渋谷区にお住まいの方は、実際に利用されるかどうかお答えください）。

1. 利用しない
2. 絶対利用しないわけではないが、たぶん利用しない
3. 必ず利用するかどうかはわからないが、たぶん利用する
4. 必ず利用する
5. LGBTではないので利用できない

パートナーシップ証明書の利用



同性パートナーシップの利用については、「利用しない」5.4%、「絶対というわけではないがたぶん利用しない」16.7%、「絶対かどうか分からないがたぶん利用する」42.0%、「必ず利用する」14.8%、「LGBTではないので利用できない」21.0%であった。そこで、「LGBTではないので利用できない」を除いて再集計したのが、上のグラフである。「絶対かどうか分からないがたぶん利用する」が53.0%と過半数を占め、次いで、「絶対というわけではないがたぶん利用しない」が21.2%、「必ず利用する」が18.7%、「利用しない」が6.9%であった。

Q11SQ1 Q11 で1または2と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 証明書取得の手続きが面倒だから
2. 役所の手続きにいったときに、自分がLGBTであることが他人に知られてしまうから
3. 証明書を使用するときに、自分がLGBTであることが他人に知られてしまうから
4. 証明書を使用するとき機会があまりないから
5. これまでに特に困ったことがなかったから
6. その他

選択した人の割合

証明書取得の手続きが面倒だから	<input type="text"/>	15%
役所の手続時にLGBTであることがわかってしまうから	<input type="text"/>	11%
利用時にLGBTであることがわかってしまうから	<input type="text"/>	7%
証明書を利用する機会があまりないから	<input type="text"/>	28%
これまでに困ったことがなかったから	<input type="text"/>	45%
その他の理由	<input type="text"/>	31%

(註) 複数回答のため、合計で 100%とはならない

Q11 において、パートナーシップ証明書を「利用しない」もしくは「たぶん利用しない」と回答した人に、利用しない理由をたずねたところ、最も多かったのは「これまでに困ったことがなかったから」(45%)、ついで「その他」(31%)、「証明書を利用する機会があまりない」(28%) だった。「その他」の内訳としては、「お金を取られるのが気に食わない」「もともと結婚制度に疑問がある」といった回答が見られた(詳細は、後半に別途記載)。

Q11SQ2 Q11 で 3 または 4 と回答された方に伺います。利用するのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. パートナー、あるいは子どもの入院・手術など病院がらみのことで、これまでに困ったことがあった(これからあるかもしれない) から
2. パートナーと住まいを探すときに、これまでに困ったことがあった(これからあるかもしれない) から
3. 職場で配偶者関連の福利厚生を受けたいから
4. パートナーであることを公的機関から証明してもらうこと自体がうれしいから
5. その他

選択した人の割合

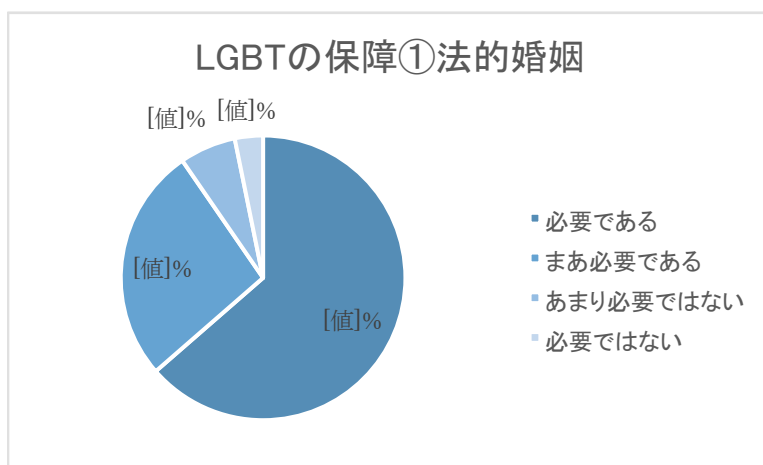
パートナーや子どもの病院で困ったことがある	<input type="text"/>	53%
パートナーと住まいを探すときに困ったことがある	<input type="text"/>	49%
職場での配偶者関連の福利厚生を受けたい	<input type="text"/>	40%
パートナーであることを公的に証明してもらうことがうれしい	<input type="text"/>	58%
その他の理由	<input type="text"/>	10%

(註) 複数回答のため、合計で 100%とはならない

Q11において、「たぶん利用する」、「必ず利用する」と回答した人に、利用する理由をたずねたところ、最も多かったのは「パートナーであることを公的に証明してもらいたい」(58%)、ついで「パートナーや子どもの病院で困ったことがある」(53%)、「パートナーと住まいを探すときに困ったことがある」(49%)であった。病院や住まいのことで困ったことがあるばかりでなく、婚姻届を出すことはできないが、公的にパートナーとして認めてもらいたいということも証明書発行の意義として大きいようである。

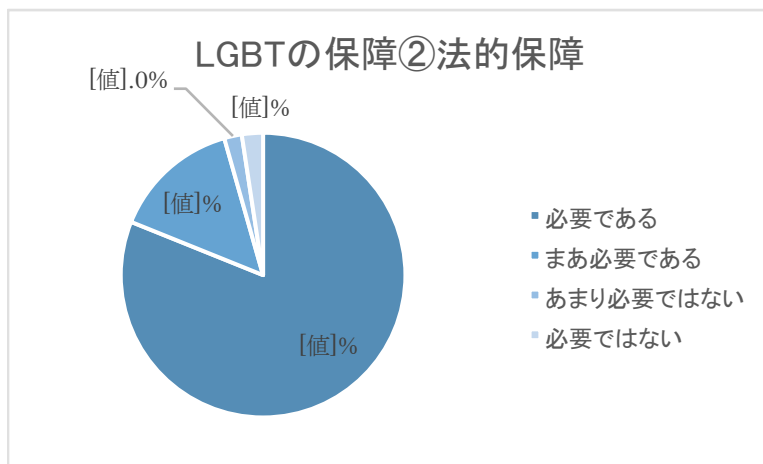
Q12 海外では、異性カップルと同等の同姓カップルの法的婚姻あるいは、同姓カップルの法的保障がすすめられる中で、今回の渋谷区の証明書は法的保障や権利義務を伴うものではありません。あなたは、日本でも同姓カップルの法的婚姻、法的保障がなされるべきだと思いますか。それとも、今回のような法的保障などは伴わない証明書でよいと思いますか。次の a から c それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

- a. 法的婚姻
- b. 法的保障
- c. パートナー証明書



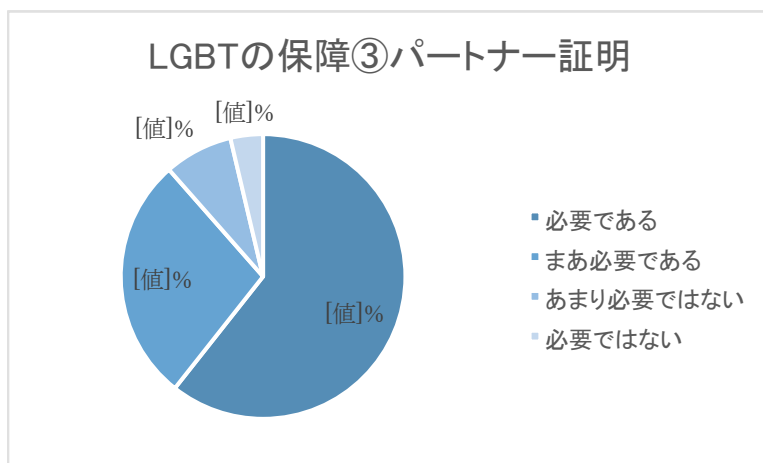
LGBTの保障として、日本でも法的婚姻が「必要である」と思う人は約64%、「まあ必要である」と思う人は約27%、「あまり必要ではない」と思う人は約6%、「必要ではない」と思う人は約3%という結果になった。

Q12b LGBT の保障②法的保障



LGBTの保障として日本でも法的保障が「必要である」と思う人は約81%、「まあ必要である」と思う人は約15%、「あまり必要ではない」と思う人は約2%、「必要ではない」と思う人は約2%であった。

Q12c LGBT の保障③パートナー証明書

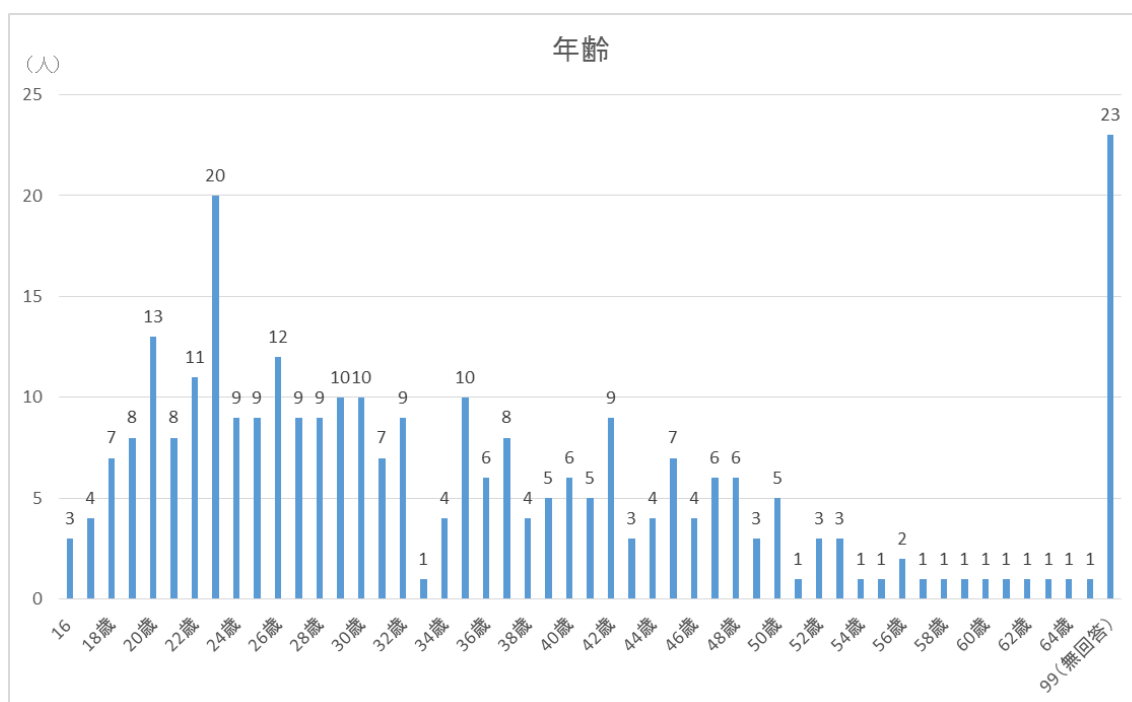


LGBTの保障として日本でもパートナー証明書が「必要である」と思う人は約60%、「まあ必要である」と思う人は約28%、「あまり必要ではない」と思う人は約8%、「必要ではない」と思う人は約4%という結果になった。

これら3つのLGBTへの保障に関して、LGBT当事者と当事者ではない人の考えを比較

したところ、大きな差はみられなかった。つまり、当事者ばかりでなく、当事者ではない人も LGBT の法的婚姻や法的保障、パートナーシップ証明書などが必要であると考えている傾向が高いといえるだろう。

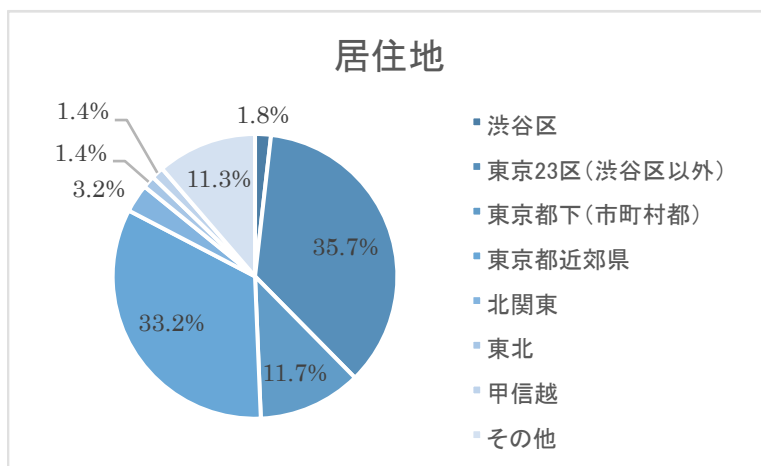
Q13 あなたは現在おいくつですか。（自由回答）



最も多いのは 23 歳で 7.3% であり、20 歳代から 30 歳代に集中している。最少年齢は 16 歳、最高年齢は 76 歳であった。また、年齢の平均は、32.87 歳、標準偏差は 11.704 であり、かなり年齢にばらつきがあることがわかる。

Q14 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 渋谷区
2. 東京23区（渋谷区を除く）
3. 東京都下（三鷹市、八王子市など市町村）
4. 東京近郊県（千葉、埼玉、神奈川、茨城）
5. 北関東（群馬、栃木、福島）
6. 東北（宮城、岩手、山形、秋田、青森）
7. 甲信越（山梨、長野、新潟）
8. 北陸（石川、富山）
9. その他



最も多かったのが東京23区（渋谷区以外）の35.7%で、次に多かったのが東京近郊県で33.2%である。東京都内だけで、82.7%を占めている。ついで、東京都下（市町村都）11.7%、北関東3.2%、渋谷区1.8%、東北1.4%、甲信越1.4%、その他は11.3%であった。

その他の内訳をみると、大阪・京都などの関西地方が7名、北海道が1名、九州・沖縄地方が3名だった。

Q15 あなたはどなたと一緒に住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 実父
2. 実母
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. パートナー
6. 自分（あるいはパートナー）の子ども
7. パートナーの父親
8. パートナーの母親
9. シェアハウス
10. その他

選択した人の割合

実父	<input type="checkbox"/>	16.8%
実母	<input type="checkbox"/>	21.8%
兄弟姉妹	<input type="checkbox"/>	14.3%
祖父母	<input type="checkbox"/>	2.8%
パートナー	<input type="checkbox"/>	17.0%
自分(あるいはパートナー)の子ども	<input type="checkbox"/>	4.3%
パートナーの父親	<input type="checkbox"/>	0.8%
パートナーの母親	<input type="checkbox"/>	0.3%
シェアハウス	<input type="checkbox"/>	1.8%
一人暮らし	<input type="checkbox"/>	17.3%
その他	<input type="checkbox"/>	3.0%

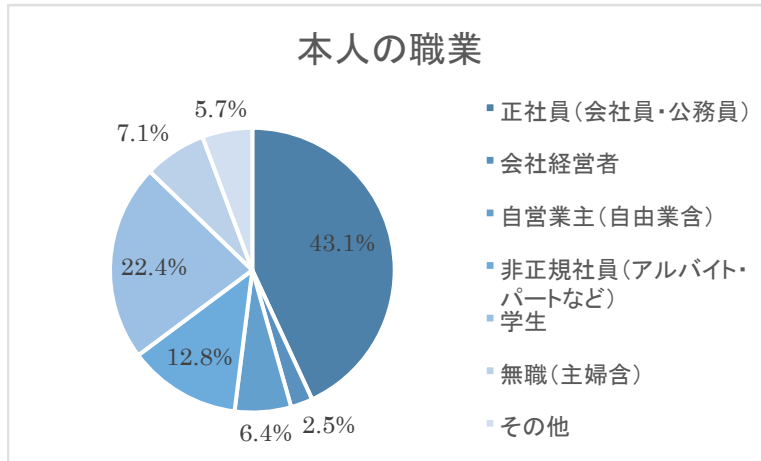
(註) 複数回答のため、合計で 100%とはならない

一番多いのは実母で 21.8%、次いで多かったのが、一人暮らし 17.3%、パートナー17%、実父 16.8%、兄弟姉妹 14.3%だった。自分もしくはパートナーの子どもと一緒に暮らしている人も 4.3%みられた。

Q16 あなたのご職業について伺います。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 正社員（会社員・公務員）
2. 会社経営者
3. 自営業主（自由業を含む）
4. 非正規社員（アルバイト・パート・派遣等）

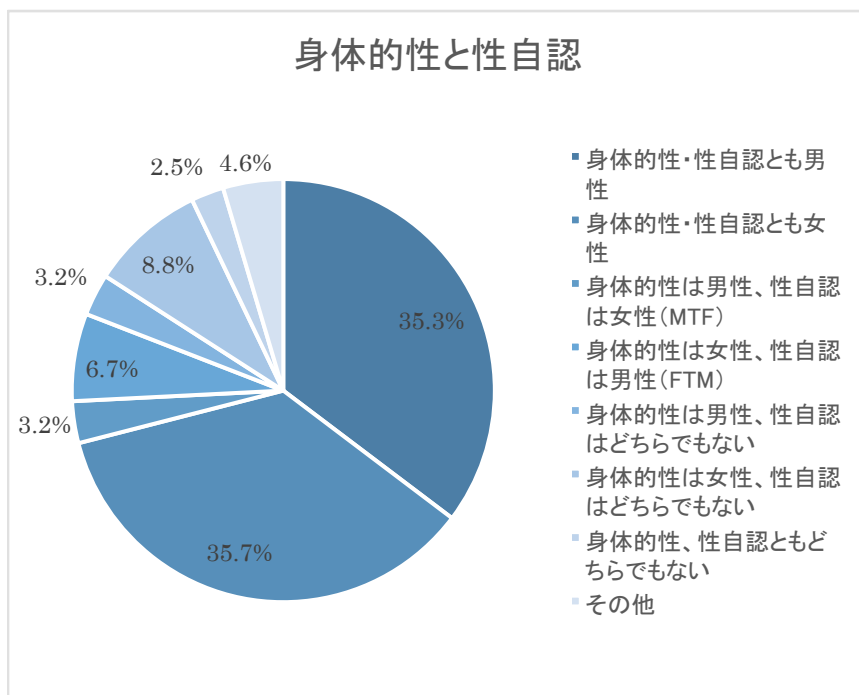
5. 学生
6. 無職（主婦を含む）
7. その他



最も多かったのが正社員（会社員・公務員）で 43.1%である。次に多かったのが学生で 22.4%、非正規社員 12.8%だった。

Q17 あなたの性自認と身体的性について伺います。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

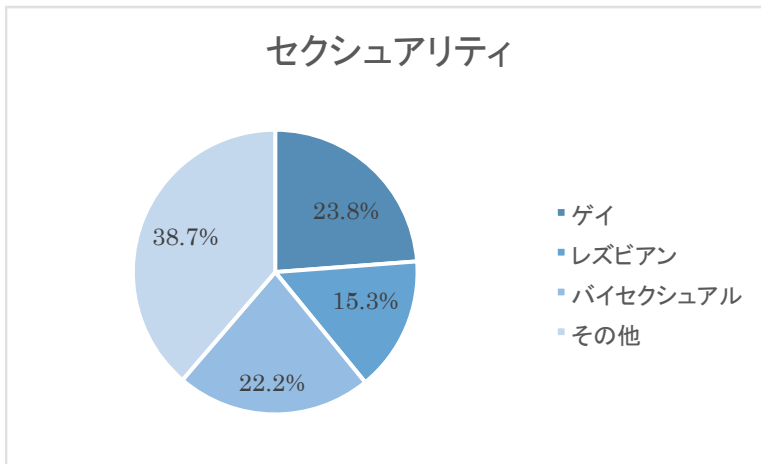
1. 身体的性・性自認とも男性である
2. 身体的性・性自認とも女性である
3. 身体的性は男性、性自認は女性である（MTF）
4. 身体的性は女性、性自認は男性である（FTM）
5. 身体的性は男性、性自認はどちらでもない
6. 身体的性は女性、性自認はどちらでもない
7. 身体的性、性自認ともどちらでもない
8. その他



「身体的性・性自認とも女性」という方が 35.7%、「身体的性・性自認とも男性」という方が 35.3%で、この 2 つで約 3 分の 2 を占めていた。次いで、「身体的性は女性、性自認はどちらでもない」という方が 8.8%、「身体的性は女性、性自認は男性 (FTM) 」という方が 6.7%であった。さらに、「身体的性は男性、性自認は女性 (MTF) 」という方が 3.2%、「身体的性は男性、性自認がどちらでもない」という方が同じく 3.2%、「身体的性別、性自認とも男女のどちらでもない」という方が 2.5%だった。その他の方は 4.6%で、具体的には、「ターナー症候群」や「男性でも女性でもない」といった内容だった。

Q18 あなたの性的志向についてお伺いします。あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

1. ゲイ(男性同性愛)
2. レズビアン(女性同性愛)
3. バイセクシュアル(両性愛)
4. その他



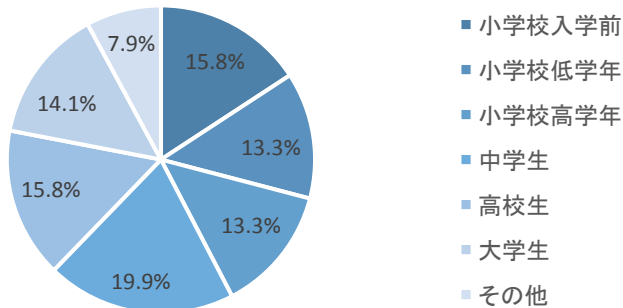
最も多いのは「その他」で 38.7%、次いで「ゲイ（男性同性愛）」 23.8%、バイセクシュアル（両性愛）」 22.2%、「レズビアン（女性同性愛）」 15.3%の順で多い結果となった。

その他に関しては、「ストレート・ヘテロセクシュアル（異性愛）」という選択肢がなかったために、「ストレート」「ヘテロセクシュアル」と記入してくださった方が最も多かったが、それ以外には「パンセクシュアル」「アセクシュアル」「デミセクシュアル」「ノンセクシュアル」など多様な記載がみられた。

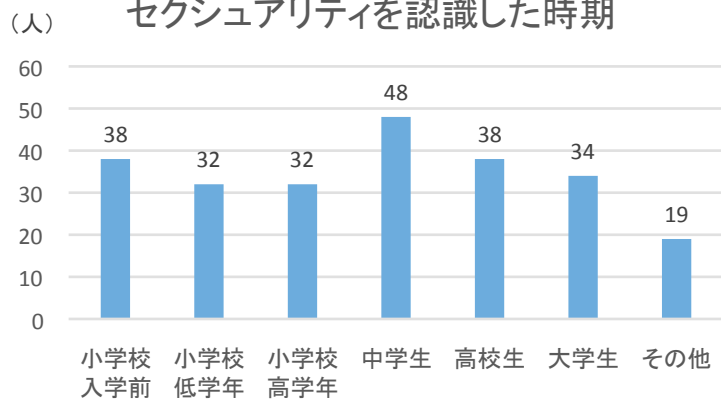
Q19 あなたがご自身のセクシュアリティについて自覚したのはいつごろからですか。当てはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 小学校入学前
2. 小学校低学年
3. 小学校高学年
4. 中学生
5. 高校生(16～18 歳)
6. 大学生(19 歳以上)
7. その他

セクシュアリティを認識した時期



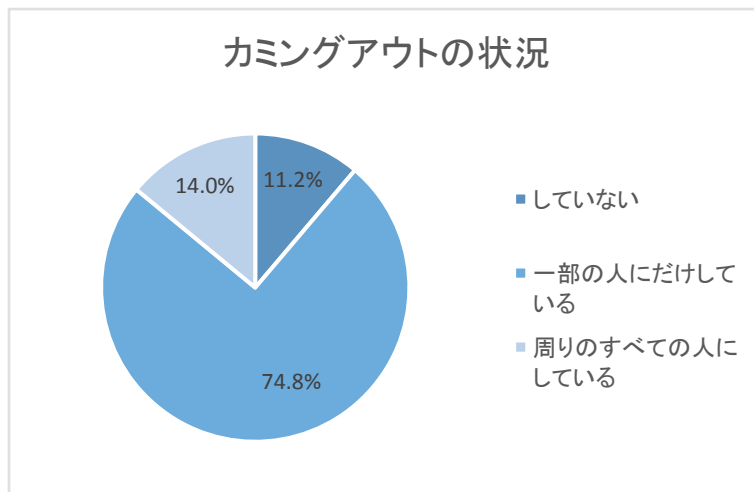
セクシュアリティを認識した時期



自分時自身のセクシュアリティを自覚した時期については、「中学生」が最も多くて19.9%、次いで「高校生」15.8%、「小学校入学前」15.8%、「大学生」14.1%、「小学校低学年」と「小学校高学年」がどちらも13.3%、「その他」が7.9%であった。

Q20 あなたのご自身のセクシュアリティについて、周りの方々にカミングアウトしていますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. していない
2. 一部のみにだけしている
3. 親族、友人・知人、職場、学校などすべての人にしている
4. LGBTではないので、カミングアウトの必要はない



回答者のうち、「4. LGBTではないので、カミングアウトの必要はない」と回答した方が17.4%であったため、この方たちを除いて、再集計したところ、「一部の人のみ」の方が74.8%と最も多かった。次いで、「全ての人にしている」14%、「していない」が11.2%であった。

Q20SQ1 Q20で2と回答した方にお伺いします。具体的にどなたにカミングアウトしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父親
2. 母親
3. 兄弟姉妹
4. パートナー
5. 親戚
6. 幼なじみ
7. 学校の友人
8. 学校の先生
9. 職場の同僚
10. 職場の上司
11. 近所の人
12. その他

選択した人の割合

父親	<input type="text"/>	7.5%
母親	<input type="text"/>	12.6%
兄弟姉妹	<input type="text"/>	10.6%
パートナー	<input type="text"/>	12.0%
親戚	<input type="text"/>	3.0%
幼なじみ	<input type="text"/>	8.5%
学校の友人	<input type="text"/>	17.9%
学校の先生	<input type="text"/>	3.9%
職場の同僚	<input type="text"/>	9.1%
職場の上司	<input type="text"/>	4.9%
近所の人	<input type="text"/>	1.8%
その他	<input type="text"/>	8.1%

(註) 複数回答のため、合計で 100%とはならない

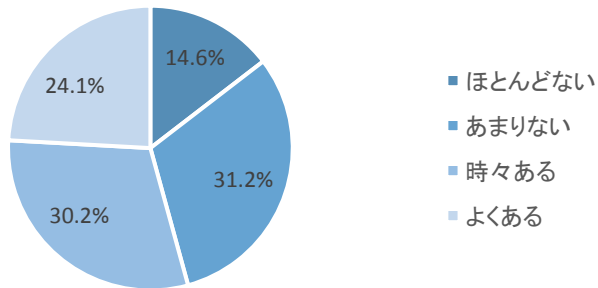
カミングアウトをしている人をたずねたところ、最も多かったのは、「学校の友人」で 17.9%、次いで「母親」 12.6%、「パートナー」 12%、「兄弟姉妹」 10.6%、「職場の同僚」 9.1%、「幼なじみ」 8.5%、「父親」 7.5%、「職場の上司」 4.9%、「学校の先生」 3.9%、「親戚」 3%、「近所の人」 1.8%という順になっている。では、「父親」よりも割合の高い「その他」の内訳は、「インターネット・SNS などの友人」「理解してくれそうな友人」といったように、「学校の友人」以外の「友人」がほとんどであった。

このように、カミングアウトをする場合、「友人」が最も多く、一方、家族もカミングアウトの対象として選ばれることが多いものの、「父親」はカミングアウトされにくいようだ。

Q21a LGBT であるために、あなたは日常生活で不自由を感じることはありませんか？
社会保障制度についてあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. ほとんどない
2. あまりない
3. 時々ある
4. よくある
5. LGBT ではない

日常生活の困難①(社会保障制度)

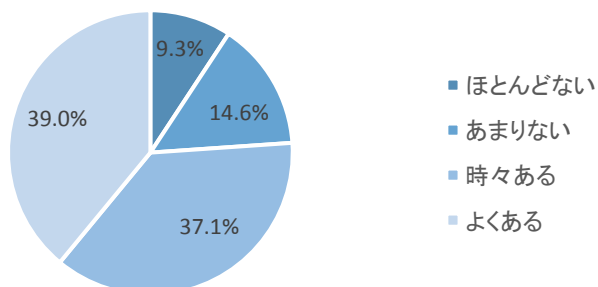


日常生活において社会保障制度について不自由を感じているかどうかについてたずねたところ、回答者のうち、LGBTではないという方が11.9%みられたため、その方を除いて再集計した。その結果、「あまりない」が31.2%と最も割合が高かったものの、「時々ある」も30.2%と高く、「よくある」の24.1%とあわせると、54.3%となり、社会保障制度に不自由さを感じる方のほうが半数よりやや多いという傾向がみられた。

Q21b LGBTであるために、あなたは日常生活で不自由を感じることがありますか？
人間関係についてあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. ほとんどない
2. あまりない
3. 時々ある
4. よくある
6. LGBTではない

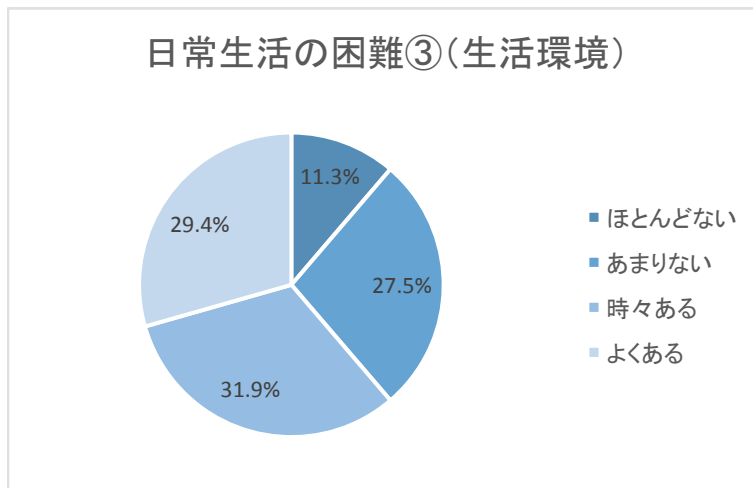
日常生活の困難②(人間関係)



日常生活において人間関係について不自由を感じているかどうかについてたずねたところ、回答者のうち、LGBTではないという方が10.5%みられたため、その方を除いて再集計した。その結果、「よくある」が39.0%、「時々ある」が37.1%と、これらを合わせると約78%となり、LGBTのかなりの方々が、人間関係において不自由さを感じていることがわかる。

Q21c LGBTであるために、あなたは日常生活で不自由を感じることがありますか？生活環境についてあてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. ほとんどない
2. あまりない
3. 時々ある
4. よくある
5. LGBTではない



日常生活において生活環境について不自由を感じているかどうかについてたずねたところ、回答者のうち、LGBTではないという方が10.1%みられたため、その方を除いて再集計した。その結果、「時々ある」が31.9%、「よくある」が29.4%、「あまりない」が27.5%、「ほとんどない」が11.3%となった。「時々ある」と「よくある」を合わせると約60%となり、LGBTの方々の過半数が生活環境に不自由さを感じていることがわかる。

第2章 アンケート自由記述および「その他」の具体的内容

Q1 今回の東京レインボープライドを知ったきっかけについて教えてください。

「その他」の回答内容について

★情報媒体から

- ・去年来たので2丁目フリースペースで聞いてHPを見た
- ・TBS ラジオセッション 22
- ・去年台湾での parade で NEWS を見た
- ・RENT の広告
- ・TBS ラジオ、J-wave など
- ・facebook で
- ・ラジオで聞いた

★人を通じて

- ・友達から
- ・娘に誘われて
- ・学校の教官から
- ・パートナーに教えてもらった

★会場を見て

- ・会場に来て
- ・カンボジアフェスに来た
- ・たまたま通りかかった
- ・となりが現場
- ・偶然居合わせた

★以前来たことがある

- ・以前から知っている
- ・毎年きている (2人)

Q3 どのような目的でこの催しにいらっしゃったか、教えてください。(カッコ内は『年齢』、『身体的性』、『性自認』、『セクシュアリティ』の順番になっている) 「その他」の内容について

★関心・意思表示

- ・自分はLGBTではないが周りにバイセクの人がいたりアイノリティ社会の文化的活動を広めることに関心があるため(44、女性、男女両方ある、ノンケ)
- ・インターネットで見てどのようなことをしているのか知りたかったから(37、女性、女性、不明)
- ・差別偏見に対する抗議の意志表示(58、女性、女性、異性愛)
- ・社会が変わるように、貢献するため(35、男性、男性、ゲイ)
- ・世の中で特に日本ではLGBTを当たり前と言うくらい特に知ってもらうため(41、女性、男性、ヘテロセクシャル)

★仕事・学校

- ・仕事(不明、男性、男性、女性)
- ・自分の関わる活動のチラシを配るため(63、女性、女性、レズビアン)
- ・学校のフィールドワーク(52、女性、女性、男性)

★その他

- ・会えない友人に会うため(不明、男性、男性、ゲイ)
- ・友人の付添い(20、女性、女性、両性)
- ・楽しむため!(23、女性、女性より、バイ?ストレート?)

Q5(2)「会場の催しについて改善したほうがよいと思われるものはありますか？」

A パレードの改善点・要望について

★場所

- ・陸橋下を歩いてステージで人を流したほうが良い
- ・集合場所がよくわからなかった(4人)

★参加

- ・フロートが早くて小走りだった。前後もあきすぎていて、もう少しつめて、ゆっくり歩きたい。

- ・一人できた人、初見できた人が分かりにくい。身内感、コミュニティー感を感じる。
- ・混雑がすごい (2人)

★運営

- ・並んでいるところ以外にも誘導してくれる人がいてくれるほうがよかった
- ・参加人数を制限しないでほしい。人数が増えても問題ないと思う。(3人)
- ・いつ始まったのか分からなかった
- ・受け付けの締め切りが早すぎる。売り切れだった。(3人)
- ・自由に飛び込み参加OKにしてほしい (3人)
- ・フロートの2団体目と3団体目の距離がありすぎた。
- ・ならぶ時のアナウンスがわかりづらい
- ・列形成と移動中の注意点の共有
- ・列の整理と整理の人の明るさ
- ・事前告知等
- ・一般の人が横断歩道をわたって良いか混乱していたので区分をはっきりしてほしい

★内容

- ・男性専用パレードをもっと増やしてほしい
- ・海外のパレードと比べると行進みたい
- ・音が小さい (2人)
- ・ルート沿いのお店に声をかけて、祭モードになってもらう
(レインボーフラッグをかざってもらうとか) (2人)
- ・適度に音楽を流す車をフロート間に入れたほうがテンションが上がる。
- ・昔のスタイルがいい
- ・歩行者天国みたいにしてほしい
- ・ただ歩くのではなく自己表現をすべき

★その他

- ・露出が多いイメージが強い (2人)

b ブースの改善点・要望について

★場所

- ・どこに何があるのかわかりづらい。マップが欲しい (8人)
- ・正面が不明。通路を広くしてほしい
- ・事前資料と配置が異なっていた。その説明もなかった。
- ・ブースの前に飲食店があって行きづらい

- ・ブースによって人の偏りがあるからブース配置に気をを使う

★店

- ・もう少し出店が多いといいな（当事者団体）（2人）
- ・パッと見でどんなブースかわかるといいです（5人）
- ・賃料を安くする
- ・もっとファッション系の出店を増やすべき
- ・もう少し交流を持ったやり方が必要だと思う。
- ・メンズの下着類、実物の展示問い販売に力入れてください！
- ・アライ拡大のためのものがほしい
- ・盛り上がっている所、ない所がある（2人）
- ・いろいろあるが物販のサイズが少ない
- ・ストレート層やファミリー層向けにキッズが楽しめるようなブースなどもあると良いのでは。
- ・他を寄せ付けない感がある
- ・パンセクシュアルのブースがあるといい
- ・HIV/AIDS おおいてけぼり

★運営

- ・事前告知等
- ・時間通りにオープンしない。列の整理
- ・人が多すぎて身動きがとりにくい
- ・通行しやすいように人をさばいてほしい
- ・椅子の個数をきちんとしてほしい。日付が変わったらブースになかった。

c ステージの改善点・要望について

★内容

- ・パフォーマンスによってミニステージのような所でやると良いのでは
- ・屋外のクラブブースみたいな会場があっても楽しそう。
- ・太鼓がうるさい
- ・イベントが少ないと思う
- ・見ていたいと思うものが少ない。パッと見て満足してしまう。（2人）
- ・何をやっているのかわかりにくい
- ・もっとトークなどほしい
- ・もう少し出演者が…セクマイの人々

- ・アイドル系が多かった

★運営

- ・現在進行中の催しがわからなかった（2人）
- ・どこでやっているのかわかりづらかった
- ・事前告知等（2人）
- ・情報が少ない。公式サイトがスマホからなのでプルダウン選択できない。
- ・混雑がすごい
- ・時間表を2、3箇所おく
- ・一日中してほしい

d 飲食店屋台の改善点・要望について

★場所

- ・ブースの前に飲食スペースがあって行きづらい
- ・通路が狭い
- ・規模拡大してもいい

★店

- ・同系統のものが集まりすぎかも（3人）
- ・種類が少ないのもっと屋台を増やして欲しい（6人）
- ・タイ系料理に傾倒
- ・イタリア系が欲しかった。ピザ、パスタ等
- ・和食のバラエティをお願いします
- ・単価を下げる（4人）
- ・午後に行くとないものが多い
- ・ケバブが目立ちすぎ。色々そろえている感じを出してほしい。
- ・TRP 関係の屋台と関係のない屋台が区別しにくい。なるべく TRP 関係の屋台にお金落としたいです。
- ・混みすぎて買えない

★運営

- ・列が分からない、可動ポールを用意してほしい
- ・列が整理できていない。（3人）
- ・着席スペースの確保
- ・カンボジアフェスティバルと重複しない日時を設定をすること

- ・ごみ箱の設置場所が分かりづらかった（2人）
- ・ごみ箱がもう少しあったら良い（3人）
- ・情報が少ない。公式サイトがスマホからなのでプルダウン選択できない。
- ・事前告知等

Q6「レインボーウィーク期間は、この会場でのパレードとフェスタのほか、パーティやワークショップなど様々な催しが行われています。あなたは、これらにも参加しましたか（する予定ですか）。また、参加した方は、その中でどんなものに参加したことがありますか（参加する予定ですか）」

「その他」の具体的内容

- ・アドボカシーカフェの講演会(58/女性/女性/ストレート)
- ・情報が足りていない。知らなかった。(31/男性/男性/ストレート?)
- ・映画祭参加予定(22/女性/女性/レズビアンよりのバイセクシュアル)
- ・今年から交流会に参加したい(41/女性/男性/ストレート)
- ・遠方より参加のためパレードとフェスタしか出られない(44/男性/?/?)

Q10SQ1 Q10（あなたはLGBT関連の団体や活動に参加していますか？）で3（LGBT関連の団体には所属していないし、活動もしていない）と答えた方に伺います。そうした団体や活動に参加していない理由はなぜですか。カッコ内は『年齢』、『身体的性』、『性自認』、『セクシュアリティ』の順番になっている。（なお、同じ回答が複数あった場合は「セクシュアリティ：人数」と表示している）

「その他」の具体的内容

- ・所属していなくても割りとオープンにしているから（ゲイ：3人）
- ・LGBTではない（ストレート：2人）
- ・自身が明確でないから（バイセクシュアル：1人、不明：1人）
- ・時間が作れないので（レズビアン：1人、不明：1人、バイセクシュアル1人）
- ・タイミングがない、余裕がない（レズビアン：1人、バイセクシュアル1人）
- ・アセクシャルに近いし、困っていない。（23、女より、バイ、ストレート）
- ・当事者ではないため具体的な情報が入りにくいができるだけ参加した。（58、女性、女性、ストレート）

- ・直接関わりがない(48 女性、女性、不明)
- ・とある協会に登録だけしましたが、無料登録の為所属していると名乗っていいかわからなかったから(32、男、男、その他)
- ・勇気がない(21、女、女)
- ・情報を得て満足してしまう(30、女、女、バイセクシュアル)
- ・以前は活動していたが今はしていない(37、男、男、ゲイ)
- ・ROM 専なので見てのだけが好き(27、女性、女性、女性)
- ・うまくなじめるかどうか心配だから(36、女、女、未記入)
- ・自分にできることがあるのか、又できるのか不安がある(37、男性、男性、ストレート)
- ・誰でも参加できるのかな?(40、女性、わからない、ストレート)

Q11SQ1「Q11 (パートナーシップ証明書があなたのお住まいの自治体で発行されることになったら利用したいと思いますか?) で 1 (利用しない)、または 2 (絶対利用しないわけではないが、多分利用しない) と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか?」カッコ内は 『年齢』、『身体的性』、『性自認』、『セクシュアリティ』 の順番になっている。(なお、同じ回答が複数あった場合は「セクシュアリティ：人数」と表示している)

「その他」の具体的内容

- ・金を取るのが気に食わない(ゲイ：1人、不明1人)
- ・区長のみやかしだと思っから(ゲイ：1人、不明1人)
- ・親の理解が得られないため(35、男性、男性、男性)
- ・結婚なんてしたくない(28、女性、女性、Queer)
- ・利用したいが、養子縁組しているので利用できるかわからない(26、女、男、バイセクシュアル)
- ・もともと、婚姻制度に疑問があること。特定の心から寄り添えるような人間関係がないこと。正し、パートナーのいる人同士には、公的に関係を認めるべきです。(42、不明)
- ・パートナーがいない(28、男、男、パンセクシュアル)
- ・一人のパートナーというものに興味がない(23、女、男女のどちらでもない、レズ気味のパンセクシュアル)
- ・本質的な解決とは思えないから(63、女性、女性、レズビアン)

Q11SQ2「Q11（パートナーシップ証明書があなたのお住まいの自治体で発行されることになったら利用したいと思いますか？）で3（必ず利用するかどうかは分からないが、多分利用する）、または4（必ず利用する）と回答された方に伺います。利用するのはなぜですか。」カッコ内は 『年齢』 / 『身体的性』 / 『性自認』 / 『セクシュアリティ』 の順番になっている。（なお、同じ回答が複数あった場合は「セクシュアリティ：人数」と表示している）

「その他」の具体的内容

- ・受けられるなら、くらいの気持ち（ゲイ：2人）
- ・当然の事と思っている（49/中性・ターナー症候群/?/女性が好き）
- ・自分だけでなく他の人のためにも広めることを考えたら自分がまず利用すべきだから。（35/男性/男性/バイセクシュアル）
- ・どうして男女と同じ婚姻制度ではなくパートナーシップ証明書発行なのかやや疑問に思う。（32/男性/男性/ゲイ）
- ・利用者が増えて同性婚がOKになったりすることに繋がると良いなと思って。（30/女性/男性/ストレート）
- ・同性婚だけど日本はそれを認めないし、結婚が無効になる恐れがあるから。（45/女性/男性/わからない）

Q20SQ1「Q20（自分のセクシュアリティについて周りにカミングアウトしていますか？）で2（一部の人にだけしている）と回答した方に伺います。具体的にどなたにカミングアウトしていますか？」カッコ内は 『年齢』 / 『身体的性』 / 『性自認』 / 『セクシュアリティ』 の順番になっている。（なお、同じ回答が複数あった場合は「セクシュアリティ：人数」と表示している）

「その他」の具体的内容

- ・SNS上の友人（バイセクシュアル：2人、ストレート：1人、ゲイ：1人）
- ・インターネットでの友人（レズビアン：1人、パンセクシュアル：1人）
- ・理解のある友人・知人
（バイセクシュアル：2人、Queer：1人、レズビアン：1人、不明：1人、パンセクシュアル：1人）

- ・セクマイ関連の活動での知り合いのみ(アセクシュアル：1人、ゲイ：1人)
- ・社会福祉支援団体(37/男性/女性/レズビアン)
- ・バイト先の常連客(18/女性/女性/パンセクシュアル)
- ・同じくセクマイの友人(19/女性/わからない/デミセクシュアル)

Q22「今回の催しあるいは、このアンケートに対してご意見・ご感想があれば、自由にお書きください。」カッコ内は 『年齢』 / 『身体的性』 / 『性自認』 / 『セクシュアリティ』 の順番になっている（なお、同じ回答が複数あった場合は「セクシュアリティ：人数」と表示している）

★要望

☆サイトについて

- ・代々木公園のどこでやるのかわかりづらかったので、サイトのトップページに書いておいてもらえると嬉しいです。(26/女性/男性/バイセクシュアル)
- ・スマホサイトのプルダウンと予定更新の遅さに少し困りました。(23/女性/どちらでもない/レズビアンよりのパンセクシュアル)

☆イベントについて

- ・LGBT ではなくても入れる新宿二丁目のお店の一覧が欲しい。このイベントを年一ではなく各市町村で年内通しにやってほしい。会場内が暖かさに包まれ完璧なパフォーマンスを拝見でき、どのステージより解放された。(58/女性/女性/ストレート)
- ・年に2～3回くらい行ってほしいです(36/男性/男性/バイセクシュアル)
- ・年に一回ではなく何度か東京やそのほかでもやってほしいです。(17/女性/男性/アセクシュアル)
 - ・すばらしいです。ただ二日間はやめたほうが良いと思った。初日がまったく盛り上がってない(51/男性/男性/ゲイ)
 - ・人と交流できると良いと思いました。セクごとでなくごちゃまぜのイベントもあると良いと思いました。(23/女性/どちらでもない/レズビアンよりのパンセクシュアル)
 - ・仲間としての出会いにつながるようなイベントがあったらうれしかった(34/どちらでもない/どちらでもない/バイセクシュアル)
 - ・西部プリンスドームで今後は行ってほしい(37/男性/女性/レズビアン)
 - ・パレードやフェスタを引き続き毎年やってほしい。なぜならLGBT当事者がいるということをも日本に広め、すぐには理解してもらえないとは思いますが、少しずつ理解、そして推進していくようにしてほしいと思う。賛否両論はもちろんあると思うが、負けずに多様に溢れる世を変えていくしかない。(27/男性/男性/ゲイ)

☆運営について

- ・年々人が増えてきているので会場の規模、トイレの数等、ロジを十分考慮する必要性が高くなっていると感じました。今後はセクマイ当事者のみならず、アライの参加も増えてくることと思います。包括的なイベントへの転換を図る必要もあるかも知れませんね。
(48/女性/女性/猫愛者)
- ・パレード参加者が多数になるなら、ネットでの事前受付などでもあると良いと思う。またブースに人がいても説明がなかったり話しかけづらいものがあるのが残念。(27/どちらでもない/どちらでもない/バイセクシュアル)
- ・館内、タブロイドの会場案内図がとてもわかりづらかったので、番号などを付けてまとめてわかるようにしてください。(前はそうだったと思いますが)(31/女性/女性/バイセクシュアル)
- ・混雑がひどいのが唯一の不満です。(47/男性/男性/ゲイ)
- ・イベントのプログラミングの用紙があれば参考になるばかりではなく楽しめるのではないかと。(56/男性/男性/ストレート)
- ・オールジェンダートイレの数をもう少し増やしてほしい(31/男性/男性/ゲイ)

★感想

☆パレードについて

- ・年々大きくなってゆくイベント。今回のパレードは今までで一番沿道のひとが多かったように思います。(27/女性/女性/ストレート)
- ・来年はパレードに参加したい(48/女性/中性/バイセクシュアル)
- ・TRPに来たのは二回目ですがパレードに参加したのは初めてでした。あの時参加して良かったと思いました。ありがとうございます。(17/女性/男性/バイセクシュアル)
- ・パレードという形でLGBTの人を可視化するのはどうかとおもう。デモみたい。
(20/女性/どちらでもない/バイセクシュアル)
- ・パレードすごく良かった。結婚式も最高だった。(35/女性/女性/ストレート)
- ・今回時間に間に合わずパレードに参加できなかったのが残念です。(21/男性/男性/ゲイ)

☆イベントについて

- ・楽しかった、また参加したい
(レズビアン：1人、ストレート：4人、ゲイ：1人、アセクシュアル：2人、
バイセクシュアル：2人、パンセクシュアル：1人、不明：1人)
- ・お疲れ様です、これからも頑張ってください、応援しています
(バイセクシュアル：1人、レズビアン：3人、ストレート：2人)
- ・この催しを開催してくださりありがとうございます。
(レズビアン：1人、バイセクシュアル1人)

- ・人がいっぱいいてこわいけどなんか来ちゃうのよね。(22/女性/女性/レズビアン)
- ・年配の LGBT ももっと参加できればいいのと思います。(63/女性/女性/レズビアン)
- ・昨年も参加させていただきました。ゴールデンウィークに LGBT のイベントがずっと恒例となるといいなと思っております。スタッフの皆さまありがとうございました。
(31/女性/女性/バイセクシュアル)
- ・自分にもできることをしたいと思った。(16/女性/どちらでもない/レズビアン)
- ・そういうものがあるのかと思った。(26/男性/男性/ストレート)
- ・昨年よりも内容がものすごく良かった。 LGBT の人々が集まる場所はとても居心地がいいです。(17/女性/男性/アセクシュアル)
- ・救われました！(16/女性/女性/レズビアン)
- ・こういった活動があることを知らなかったので知ることができてよかったです。(20/女性/女性/ストレート)
- ・主催者、関係者の皆様が大変な苦勞があると思いますが、このような場を設けていく事は大切だと思うのでありがとうございます。今後も自分も人として社会でできる限り発信者としていろいろ微力でも頑張ろうというエネルギーをいただきました。(42/男性/男性/ゲイ)
- ・ぜひ来年も実施していただき活動を頑張ってもらいたいです。募金します。(23/女性/女性/パンセクシュアル)
- ・大好きな清水ミチコさんと呼んでくださって本当にありがとう！出演が決まった時は感動してちょっとうるっときました。有名人がイベントに来て下さる時代がきたんだなあ。(37/男性/男性/ゲイ)
- ・素敵な人がたくさんいて笑顔がいっぱいの楽しいイベントでした (27/女性/女性/バイセクシュアル)
- ・これからもありのままの自分で生きていきたいと思っています。みながありのままで生活できる環境がこれからもっと良くなればとおもいました。(34/男性/男性/ゲイ)
- ・地方でもこのような催しをやっていこうと動いているので、これからも先駆者として頑張ってくださいたいです。(31/女性/男性/?)
- ・楽しかったです！楽しいということはとても強いことだと思います。これからもここに来たくなる楽しいイベントに期待しています！(37/男性/男性/ストレート)
- ・台湾出身の留学生です。台湾の PRIDE にも参加したことがありますが、まさか日本にもこのようなフェスタ&パレードがあるとは思いませんでした！頑張ってください！(19/女性/わからない/デミセクシュアル)

☆LGBT について

- ・学校の授業でも LGBT のことを学んでもらいたい。(41/女性/男性/ストレート)
- ・とても LGBT に対してためになりました。はげみます。(36/男性/男性/ゲイ)

- ・LGBT に理解のある世の中、社会になるように。(54/男性/両方/バイセクシュアル)
- ・LGBT を批判するにしても賛同するにしても、まず知らないといけないと思っていたので、今回こうして来れて良かったと思います。私自身は今のところ女性が恋愛対象ではありますが、人が人を好きになるのに性別は関係ないと考えてます。会場で様々な方とすれ違ったり、知識を覚えたり、自分にとって良い経験になったと思います。(32/男性/男性/その他)
- ・日本でLGBT がどう生きていくか。海外と比較するのではなく、日本では実際にどんな人がどんなことで困っているのか、を考えるきっかけになりました。(32/男性/男性/ゲイ)
- ・詳しくは分からないが可能性はつぶしてはならないと思う。(31/男性/男性/ストレート?)
- ・バイセクシュアルの女性知人が時々周りにいました。バイセク女性から好意的に見られることが時々ありました。LGBT、ジェンダー、フェミニズムについてよく考えます。ノンケも女というだけでの差別だったり、去年、大久保でヘイトスピーチに対する東京大行進でドラッグクイーンやセクシャルマイノリティーの方々も、人種、セクシュアリティ、等の差別を無くそうと参加している報道を見てます。(44/女性/男女両方/ノンケ)
- ・ボランティアでみなさんが頑張ってくれて、本当に心から感謝します。僕ももっとLGBT が生きやすい社会を作っていけるような活動を頑張りたいと思います。(37/男性/男性/ゲイ)
- ・今回をきっかけにLGBT への理解が一般の人にも広まってほしい。(27/男性/男性/ゲイ)
- ・日本のLGBT シーンを盛りあげてくれてありがとうございます。(23/男性/女性/レズビアン)
- ・ヘテロにとってもLGBT に理解ある社会は同調圧力がなく心地良い社会です。誰もが生きやすい世の中のために生き辛さを感じながら生活している者にとってLGBT の人たちが先頭に立って社会を変えていっているのが社会の希望となっています。(男性/男性/ストレートが強い)
- ・地方においてLGBTQ の認知度が低い、またはステレオタイプな認識が幅をきかせている。自身はPDD と診断されたため性成熟に問題があったと思う。私が何者であるか未だによくわからないし、いわゆるGIDの幼少エピソードを耳にするたびに辛い思いをする。(44/男性/わからない/わからない)
- ・LGBT についてあまり知らないですが、色々そのことで大変な思いをしている方々をみるともっと日本も認めて差別のない世の中になってほしい。(37/女性/女性/?)
- ・差別のない住みやすい街になってほしい。人間みんな関係なく平等に生きるべき。LGBT の皆さま頑張ってください。(30/女性/女性/?)
- ・日本がLGBT にとっても又その家族やパートナーにとっても暮らしやすい国になりますよーに！これからも東京レインボープライド応援しています。(32/女性/女性/ストレート)

☆LGBT 関連の制度について

- ・制度を問う前にパートナーいないのはつらい。(37/男性/男性/ゲイ)
- ・LGBT の事はやっと議論のテーブルにあがった段階なのでパートナーシップ条例などの改良や議論を通してアライを増やしていかないと法は変えられない。(50/男性/男性/ストレート)
- ・同性婚やセクシャルマイノリティにはおおいに賛成なので、これからも頑張って下さい。法改正にむけて続けていってください。(44/男性/男性/ストレート)
- ・社会保障制度と生活環境に不自由を感じることがないのは今学生だからだと思う。これから先が不安(25/女性/女性/レズビアン)

★アンケートについて

☆感想

- ・大学のゼミでこのようなアンケートをやっていただき一般の人にも LGBT がもっと広がっていくといいです。(31/女性/男性/?)
- ・私自身セクマイで昨年卒論でも同性愛について取り上げました。本来このアンケートのような質問紙が配れたらよかったです。なかなか理解も得られず難しく(ゼミの先生には CA していなかったため)応援しております。(22/女性/女性/レズビアンよりのバイセクシュアル)

☆改善点

- ・アンケートが長い(ストレート:1人、ゲイ:1人、バイセクシュアル:1人)
- ・このようなアンケートは LGBT の方とそうは感じていない人用で別に必要なのではないかという気もします。アンケートに参加したら迷惑だったのかなとも思っていました。当事者だけでは社会は動かないと思うので…(48/女性/女性/?)
- ・アンケートがしやすいように板にはさむとかにした方が多くの方がやりやすいと思う(31/女性/女性/バイセクシュアル)
- ・LGBT のみではなく、性分化疾患(DSD)もいれてください。(49/中性/?/女性)
- ・1、ボードを用意すること、2結果が分析できたら LGBT 支援機関団体にも公表してください、3 LGBT に対してもセミナーや講習会を開くべき(48/男性/男性/ゲイ)
- ・Q20.2 の選択肢が狭すぎる、3 の選択肢が広すぎる。質問項目が答えにくいものが多いので、(曖昧、二重の意味に捉えられるもの)もう少しブラッシュアップしたほうがよい。

あと、最後に「ご協力ありがとうございました」と書くのが調査では普通です。(33/女性/女性/レズビアン)

- web ページから答えられるとよいかも(ストレート：1人、ゲイ：1人)
- アンケートが結構 LGBT 向けに作られているので LGBT・ストレート・アライのどれもが答えやすいものにする必要があると思う。(22/男性/男性/ストレート)
- アンケートの選択肢が若干少ない気がした。でもこういう試みは良いと思う。(レズビアン：1人、不明：1人)
- Q7 について現状仕事のない人や就労が困難な人に配慮した質問の形にしてほしいです。(29/男性/女性/アセクシュアル)
- トランスジェンダーの部分がおざなり(40/男性/女性/?)
- 対象が LGBT に限られているように感じる。自身はバイだが、それよりもポリーとしてレインボーを掲げているのもっと多様なマイノリティにも触れてほしいと感じた。特にアンケートなどで LGBT のどれなのか、あるいは LGBTs のどれかと聞かれるのも少し違和感がある。どれでもない人もいる。(23/女性/女性/バイセクシュアル)
- 質問内容が多い(18/女性/女性/パンセクシュアル)

(参考資料) 調査票見本

2015 東京レインボープライド 来場者アンケート

本日は、東京レインボープライドへのご来場、誠にありがとうございます。

本アンケートは、東京レインボープライドにどのような方々ご来場くださり、どのような感想をお持ちになったかを伺い、来年度以降の開催の参考にすることを目的としています。

無記名でご回答いただきましたアンケートは、統計的に処理し、個人は特定できない形で集計されます。なお、アンケートでは、日ごろのみなさまのお考えや行動、年齢やセクシュアリティなど個人的な事柄についてもお伺いしていますが、これらの質問は、みなさまのご感想などの傾向を分析するために必要なものです。

何卒、本アンケートの趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答いただけますよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2015. 4. 25/26

2015 東京レインボープライド

共同代表 山縣 真矢・杉山 文野

(調査委託先：駒澤大学文学部社会学科社会学専攻

松信ひろみゼミ)

○ご来場日 (○をつけてください) 4月25日 ・ 26日

(以下ではレインボープライドについてお伺いします)

Q1 今回の東京レインボープライドを知ったきっかけについて、あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 自分がかかわっている団体が参加するから
2. (LGBTの)友人・知人に教えてもらって
3. インターネットの公式サイトを見て
4. Twitter をみて
5. マスコミの報道を見聞きして
6. その他 (具体的に: _____)

Q2 東京レインボープライド (プライドパレード) への参加は今回で何回目ですか?

() 回目

Q3 あなたはどのような目的でこの催しにいらっしゃいましたか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. パレードに参加するため | 2. パレードを見物するため |
| 3. ブースに出展者として参加するため | 4. ブースを見たり買い物したりするため |
| 5. ステージに出演するため | 6. ステージを見物するため |
| 7. LGBTの友人を増やすため | 8. LGBTに関する様々な情報を得るため |
| 9. LGBTの仲間と一年に一度のお祭りを楽しむため | |
| 10. その他（具体的に： _____) | |

Q4 今日の会場の催しにどの程度満足しましたか。a から d の各項目に関して、あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

	1. あまり満足していない	2. やや満足していない	3. まあ満足している	4. 大変満足している
a.パレード	1	2	3	4
b.ブース	1	2	3	4
c.ステージ	1	2	3	4
d.飲食の屋台	1	2	3	4

Q5 今日の会場の催しについて改善したほうがよいと思われるものはありますか。a から d の各項目に関して、あてはまる番号一つに○をつけ、その改善点について具体的にお書きください。

(1) 改善すべきかどうか

	1. 改善すべき	2. やや改善すべき	3. まあ改善しなくてよい	4. 改善しなくてよい
a. パレード	1	2	3	4
b. ブース	1	2	3	4
c. ステージ	1	2	3	4

1. 全く配慮しない 2. あまり配慮しない 3. やや配慮する 4. 必ず配慮する

Q9 あなたは、新宿2丁目のLGBTが集まるお店をどのくらいの頻度で利用しますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. ほとんど利用したことはない 4. 月に1、2回くらい
2. 年に1、2回くらい 5. 週に1、2回くらい
3. 2、3か月に1、2回くらい 6. 週に3、4回くらい 7. ほぼ毎日

Q10 あなたはLGBT関連の団体や活動に参加していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. LGBT関連の団体に所属している
2. LGBT関連の活動に参加している
3. LGBT関連の団体にも所属していないし、活動もしていない

Q10SQ1 Q10で3と回答された方に伺います。そうした団体や活動に参加していない理由はなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. そもそもそうした団体や活動に興味がないから
2. どのような団体や活動があるのかよくわからないから
3. まわりにカミングアウトしていないので、かかわることができない
4. その他（具体的に： _____)

Q11 今月1日に渋谷区で同性パートナーシップ証明書の発行にかかわる条例が可決されました。あなたがお住まいの自治体でこのような証明書が発行されることになったら、利用したいと思いますか？あてはまる番号に一つだけ○をつけてください（渋谷区にお住まいの方は、実際に利用されるかどうかお答えください）。

1. 利用しない
2. 絶対利用しないわけではないが、多分利用しない
3. 必ず利用するかどうかはわからないが、多分利用する
4. 必ず利用する

5. LGBTではないので利用できない

Q11SQ1 Q11で1または2と回答された方に伺います。利用しないのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 証明書取得の手続きが面倒だから
2. 役所に手続きに行ったときに、自分がLGBTであることが他人に知られてしまうから
3. 証明書を使用するときに、自分がLGBTであることが他人に知られてしまうから
4. 証明書を使用する機会があまりないから
5. これまで特に困ったことがなかったから
6. その他（具体的に： _____）

Q11SQ2 Q11で3または4と回答された方に伺います。利用するのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. パートナー、あるいは子どもの入院・手術など病院がらみのことで、これまでに困ったことがあった（これからあるかもしれない）から
2. パートナーと住まいを探すときに、これまでに困ったことがあった（これからあるかもしれない）から
3. 職場で配偶者関連の福利厚生を受けたいから
4. パートナーであることを公的機関から証明してもらうこと自体がうれしいから
5. その他（具体的に： _____）

Q12 海外では、異性カップルと同等の同性カップルの法的婚姻あるいは、同性カップルの法的保障がすすめられる中で、今回の渋谷区の証明書は法的保障や権利義務を伴うものではありません。あなたは、日本でも同性カップルの法的婚姻、法的保障がなされるべきだと思いますか。それとも、今回のような法的保障などは伴わない証明書でよいと思いますか。次のaからcそれぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

	1. 必要 ではない	2. あまり 必要ではない	3. まあ必要	4. 必要
a.法的婚姻	1	2	3	4
b.法的保障	1	2	3	4

c. パートナー証明書 1 2 3 4

(ここからは、あなた自身のことやご家族・友人のことなどを伺います。分析に必要な質問ですので、趣旨をご理解の上、できるだけ回答してください)

Q13 あなたは現在おいくつですか。() にあてはまる数字をご記入ください
() 歳

Q14 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 渋谷区
2. 東京 23 区 (渋谷区を除く)
3. 東京都下 (三鷹市、八王子市など市町村)
4. 東京近郊県 (千葉、埼玉、神奈川、茨城)
5. 北関東 (群馬、栃木、福島)
6. 東北 (宮城、岩手、山形、秋田、青森)
7. 甲信越 (山梨、長野、新潟)
8. 北陸 (石川、富山)
9. その他 (具体的に:)

Q15 あなたはどなたと一緒に住まいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 実父
2. 実母
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. パートナー
6. 自分 (あるいはパートナー) の子ども
7. パートナーの父親
8. パートナーの母親
9. シェアハウス
10. その他 (具体的に:)

Q16 あなたのご職業について伺います。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 会社員・公務員 (正職員)
2. 会社経営者
3. 自営業主 (自由業を含む)
4. 家族従業者
5. 非正規労働 (アルバイト・パート・派遣等)
6. 学生
7. 無職 (主婦を含む)
8. その他 (具体的に:)

Q17 あなたの性自認と身体的性別について伺います。あてはまる番号に一つだけ○をつ

けてください。

1. 身体的性も性自認も男性である。
2. 身体的性も性自認も女性である
3. 身体的性は男性だが、性自認は女性である (MTF)
4. 身体的性は女性だが、性自認は男性である (FTM)
5. 身体的性は男性だが、性自認は男性でも女性でもない
6. 身体的性は女性だが、性自認は男性でも女性でもない
7. 身体的性別、性自認とも男女のどちらでもない
8. その他 (具体的に：)

Q18 あなたの性的指向についてお伺いします。あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

1. ゲイ (男性同性愛)
2. レズビアン (女性同性愛)
3. バイセクシュアル (両性愛)
4. その他 (具体的に：)

Q19 あなたがご自身のセクシュアリティについて自覚したのはいつごろからですか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. 小学校入学前
2. 小学校低学年
3. 小学校高学年
4. 中学生
5. 高校生 (16歳から18歳)
6. 大学生 (19歳以上)
7. その他 (具体的に：)

Q20 あなたはご自身のセクシュアリティについて、周りの方々にカミングアウトしていますか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

1. していない
2. 一部の人にだけしている
3. 親族、友人・知人、職場、学校などすべての人にしている

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

あとがき（調査を終えて）

「東京レインボープライド 2015」への来場者は、25日 12000人、26日 35000人（会場）、3000人（パレード）（「東京レインボープライド 2015」HPより）と5万人を超える盛況ぶりだった。LGBT 当事者でない方々もかなり参加しており、4月1日に渋谷区で条例の一部として試行されることになった「同性パートナーシップ証明書」による効果も大きかったのではないかと思われる。

本調査は、来場者を対象としたとはいえ、調査に協力してくださった方は、約5万人の来場者の極一部である。さらに言えば、今回の催しに来場した LGBT の方々を対象としている調査であるため、必ずしも「日本の」LGBT の方々を代表しているとはいえない。

しかし、これまで LGBT の方々を対象とした調査といえば、インタビューなどの質的調査法に基づく、各個人ごとの事例調査が主体であった。つまり、「多様な LGBT の方々」の「多様な経験・意識」を明らかにするという調査である。しかし、今回の調査は、調査票に基づく量的調査であり、多様な LGBT の方々の「個人的な経験・意識」ではなく、多様な LGBT の方々に「共通してみられる経験・意識」を見出そうとするものである。

そうした意味で、本調査により、「多様な LGBT の方々」が共通して抱えている問題、意識を発見する糸口を見出すことができたといえるのではないだろうか。

本調査結果が、来年度のレインボープライドのイベントへの提言となるばかりでなく、LGBT の方々の実態を少しでも明らかにすることができるものであることを期待している。

このたびの調査では、LGBT の方々の多様なセクシュアリティのありかたについては、ワーディングが不十分であったことなどから、きちんと把握できたとは言い難い。2016年度には、さらにブラッシュアップした調査票で、来場者の方々の様子を把握したいと考えている。

最後に、本調査の実施を快諾してくださった「東京レインボープライド 2015」の共同代表者である山縣真矢さんと杉山文野さん、そして、何よりも本調査にご回答くださった来場者の方々に感謝し、本報告書の終わりとしたい。

2016年1月吉日

駒澤大学文学部 松信ひろみ

「東京レインボープライド 2015 来場者アンケート調査」報告書

2016 年 1 月 24 日発行

発行 駒澤大学文学部社会学科社会学専攻

松信ひろみ研究室

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-2-3-1

第一研究館 1515

電話 03 (3418) 9298

